

海外留学の手引き

Study Abroad Guide

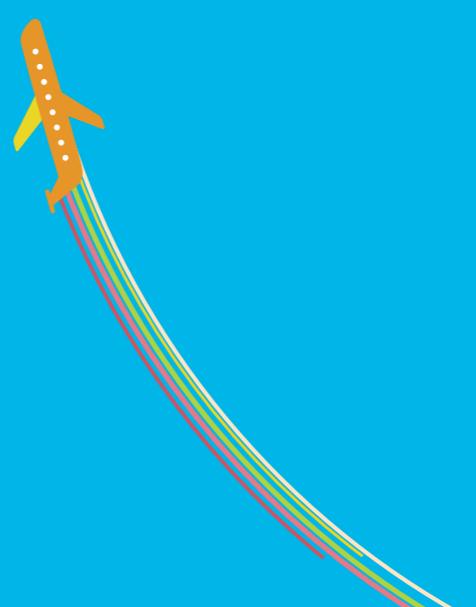


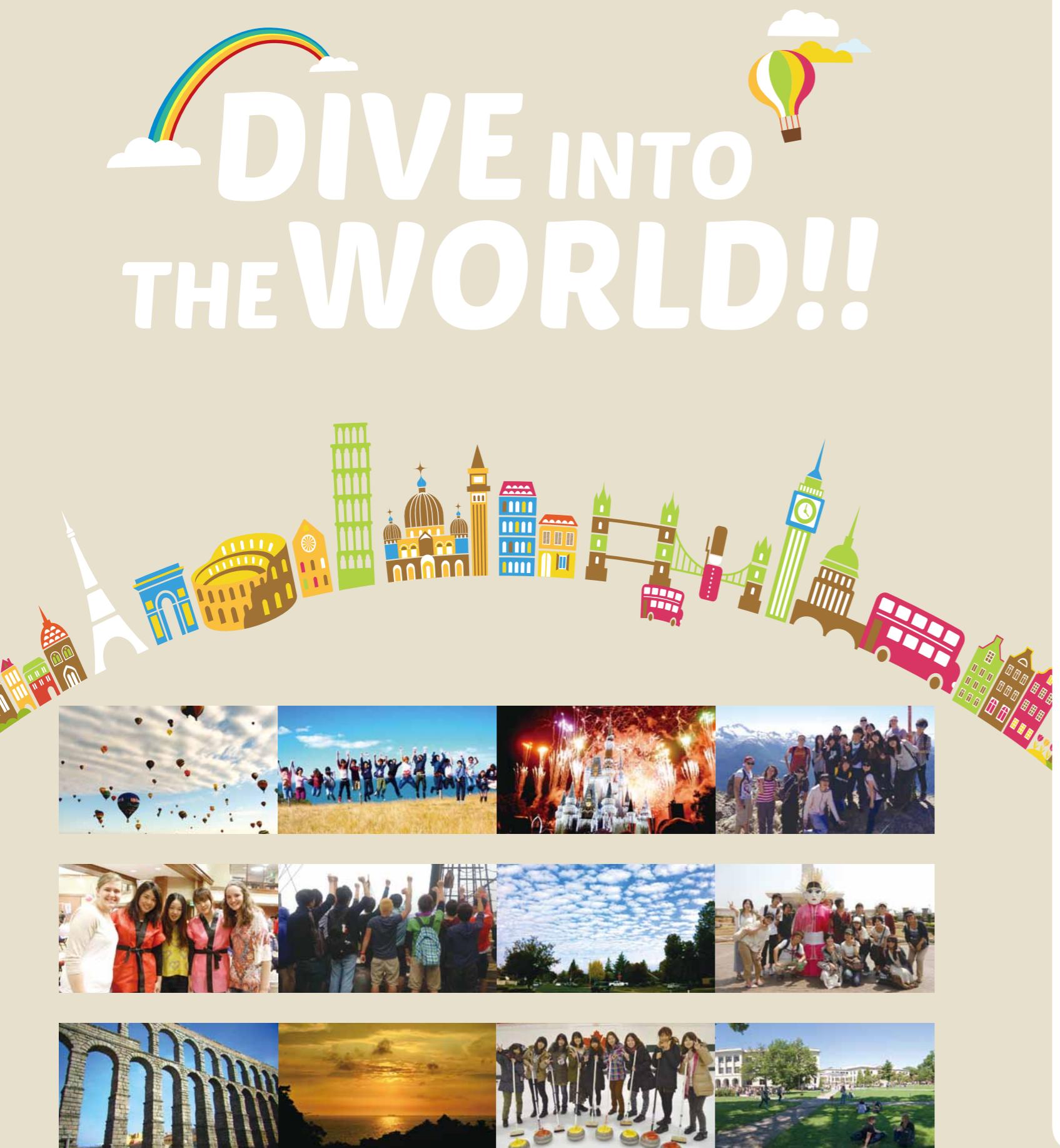
立命館大学

衣笠国際教育センター（明学館1階）〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL.075-465-8229
BKC国際教育センター（アクロスウイング1階）〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 TEL.077-561-3038

<http://www.ritsumei.ac.jp/international/>

※すべてのプログラムにおける科目は受講登録制限外です。
※本パンフレットで紹介した内容は2014年3月現在のものであり、変更の可能性がありますので、募集要項で確認してください。
※各プログラムの参加費には、実習費、航空運賃、宿泊費、フィールドトリップ費等（コースによっては、さらに食費、通学交通費等）を含みます。
参加費は現地の実習費や物価水準、為替相場、参加人数等により変動する可能性があります。





Contents

I. 留学を考えるにあたって	
4年間の学生生活と留学プラン	03
II. 立命館大学の海外留学プログラム	
01 立命館大学の海外留学プログラム	05
02 全学募集プログラムの種類と構造	05
03 全学募集の留学プログラム	06
04 各学部・教学機関の留学プログラム	07
05 応募～留学までのスケジュール(全学募集プログラム)	09
III. 留学プログラム紹介	
▶イニシエーション型プログラム	11
体験談	15
▶モチベーション向上型プログラム	17
体験談	23
▶アドバンスト型プログラム	25
体験談	35
大学院の留学プログラム	37
IV. 留学に向けて	
01 学籍・履修・単位について	38
02 奨学金制度	38
03 外国語の学習について	39
04 パスポート(旅券)・ビザ(査証)の取得	41
05 健康管理と予防接種	41
06 海外での安全・危機管理	43
07 海外旅行保険・旅行事故対策費用保険	44
08 荷物等の準備	44
09 留学中の遵守事項	45
10 留学中に本学で発生する重要な手続き	46
11 言葉の壁・カルチャーショックへの対処法	46
12 帰国後の手続き	46
V. データ・資料	
国際教育センター実施 海外留学プログラム 派遣先大学・機関一覧	47
2013年度海外派遣者実績	49
留学FAQ 一よくある質問一	51
留学の情報、どこで手に入る?	53
あなたに向いている留学プログラムは?	55
英語検定試験点数比較換算目安	57
便利なリンク集	57

4年間の学生生活と留学プラン

学部での4年間という限られた学生生活のなかで「留学」を目指す場合は、留学についてだけでなく、4年間の学生生活のプランをしっかりと立てることが必要です。ここでは、入学から留学準備、帰国後までの流れを示しています。



Check!

目的意識はしっかりと持っていますか?

「まあ、応募だけしてみよう」「とりあえず留学したいな」「英語が話せるようになりたいな」…このようなあいまいな動機で留学プログラムに応募しても、結局「お金と時間とエネルギーのムダ遣い」に終わるかもしれません。留学の目的を事前に様々な角度からじっくりと考えてみましょう。このプロセスにきちんと取り組むことで、より具体的に留学の目標を設定でき、明確な成果を得ることができます。友人やご家族、先生などに相談することも大切です。国際教育センターに設置された留学相談ブース(P.53参照)や窓口でも個別相談ができます。

Check!

家族とのコミュニケーションはとれていますか?

海外留学が身近になったとはいっても、ご家族にとってはみなさんの留学を理解してもらうことは非常に大切です。どの時期に、どの国・地域で、どのような内容のプログラムに参加したいのか、という意思を伝え、理解を得ておきましょう。多くの人は参加費用の負担を家族に協力してもらうでしょうし、どのくらいの経費が必要になるかということもしっかりと伝えてください。また、留学に向けての準備段階や、留学中はあらゆる情報を家族と共有し、家族に無用な心配をかけないよう心がけることも大切です。家族とのコミュニケーションは留学成功の第一歩だと考えてください。

Check!

留学資金は確保していますか?

留学に必要な経費を計算してみましょう。予想よりも多くのお金が必要かもしれません。それらの必要経費を準備できる資金計画はあるか、家族からの経済的援助を受けることはできるか、クリアにしておく必要があります。また、立命館大学では多くのプログラムに対して奨学金を支給しています。それらの制度を利用できるかどうかもしっかりと調べましょう(P.38参照)。

Check!

帰国後、留学の経験や身についた能力をどう伸ばし、活かしますか?

帰国すれば留学は終わりではありません。留学先での経験を学生生活やその後の進路にどのように活かすか、また次のステップの留学につなげるか、振り返ることで留学経験がいっそう意義のあるものとなります。身につけた語学力をさらに向上させるための学習、資格への挑戦、立命館大学に留学する学生のサポート活動、留学アドバイザー活動を通じての後輩への情報提供など、積極的に参加しましょう。

Check!

将来のキャリアプランは描けていますか?

留学の計画を立てるときに忘れてはならない点の1つにキャリア・プランニングがあります。留学前、または留学中も常に自分のキャリアについて意識し、進路の方向性を考えたり、自己分析・業界研究などを進めましょう。特に、3回生以降に留学をする場合は、その期間によっては4年間の卒業ができない可能性があるので注意が必要です。留学中に就職活動をする場合、インターネットを使ってどこまで就職活動ができるのか、業界ごとの採用スケジュールなども把握しておく必要があるでしょう。立命館大学のキャリアオフィスも積極的に利用しましょう。

学業成績について



立命館大学における学業成績は

主に累積GPA (Grade Point Average) で判断されることが多いです。

GPA (Grade Point Average) について

GPAは個々の学生の全体的な成績評価を示す方法で、学業成績平均点と呼ばれます。留学選考にはこのGPAが重視されます。修了した各科目の成績点(A+:5, A:4, B:3, C:2, F:0)の合計を総単位数で割って算出します(詳しくは各学部の学修要覧を参照のこと)。すべての科目(ただし、N, P評価科目は除く)が対象になりますので、どの科目もしっかり学習に取り組み、よい成績を収める必要があります。

COLUMN

留学の意義とは何でしょうか。

それは人によってさまざま、100人100通りの留学の意義があります。しかも、留学経験者のほとんどが感じるよう、その本当の意義は経験してはじめてわかるものです。留学準備の段階は希望と不安が入り交じるのが自然ですが、そのプロセスそのものが成長のチャンスでもあり、また留学を成功させる基盤ともなります。留学によってより大きく成長し、その後のキャリアに結びつけるために、自分にあった留学の形を模索しながら、その実現のために一歩ずつ具体的に準備をすすめましょう。



01 立命館大学の海外留学プログラム

立命館大学の留学プログラムに参加して留学する場合、学籍上「留学」または「在学」という扱いとなり、4年間での卒業が可能です。ただし、留学年次、留学時期、各自の単位取得状況によっては4年間で卒業できない場合もあります。

全学募集プログラム P.6	全学部の学生を対象に実施されるプログラム。 所属学部・回生等により、参加条件が限定されている場合があります。
学部・教学機関の プログラム P.7~8	各学部・教学機関が主催するプログラム。 所属学部・学科・専攻コース・回生等により、参加条件が限定されている場合があります。



※上記以外で、休学をして個人手配により留学する場合、留学期間は在学期間に算入されませんので4年間での卒業はできません。
また、留学中に取得した単位の認定を本学に願い出ることもできません。ただし、個人が自ら選択・出願し、先方大学から入学が許可され、本人による事前申請に基づいて本学が留学と認定した場合（個別合意に基づく留学）は、この限りではありません。詳細は所属学部事務室で確認してください。

02 全学募集プログラムの種類と構造

自分に適した海外留学プログラムを探し、単なる語学力の向上にとどまらないキャリアプランを作成してください。

立命館大学の留学プログラムのレベルと主な内容

立命館大学では留学プログラムの目的に応じて3つのレベルを設定しています（ただし、各学部・教学機関によるプログラムなど、この分類に該当しないものもあります）。

レベル	プログラムの目的	留学のタイプ
イニシアチブ型	語学力の増進と異文化体験を主要な目的としたプログラム	海外経験があまりない人や、語学レベルが初級者向けの異文化体験・語学修得を中心とした短期研修。
モチベーション向上型	交換留学に準ずるレベルで、語学力を高めながら外国語による講義を受けるプログラム	特定のテーマ設定による講義やフィールドワークなど。期間も短期から中長期まで幅広い。専門分野の学習に必要な中級以上の語学力が求められる。
アドバント型	正規の学部留学、またはそれに匹敵するプログラムで、自分の専攻分野の学修を外国語で行うことを主要な目的としたプログラム	現地の正規学生と同様に、正規開講科目を受講し単位を取得するもの。単位を取得するだけでなく、卒業資格を得るものもある。高度な語学力・学力が求められる。



03 全学募集の留学プログラム

レベル	プログラム名	期間	プログラム紹介
イニシアチブ型	立命館・昭和ボストン「文化・社会調査」プログラム	夏期休暇中 4週間	立命館大学の留学プログラム
モチベーション向上型	立命館・ボストン大学「英語とアメリカ文化」プログラム イリノイカレッジ オクラホマ大学 オカナガンカレッジ ウォーリック大学 イーストアングリア大学 メルボルン大学 ウェリントンビクトリア大学 南開大学 国立台湾師範大学 高麗大学 トールーズミラユ大学 チュービンゲン大学 アルカラ大学 モンテレイ工科大学 サイモンフレーザー大学 インドネシア国際協力 ハワイ大学 ラトガーズ大学 国際連合本部 サザンクイーンズランド大学 ヨーロッパスタディ 立命館・シモンズカレッジ「アメリカ社会とアメリカの国際関係」プログラム 立命館・マコーリー大学「日豪関係」プログラム 立命館・ワシントン大学「平和学」プログラム 立命館・ワシントン大学「環境と人間」プログラム 立命館・カリフォルニア大学デービス校「アメリカの言語・文化・社会」プログラム 立命館・UBCジョイントプログラム 立命館・アルバータ大学「北米の言語・文化・社会」プログラム 立命館・UBC「国際リーダー養成」プログラム 交換留学 学部共同学位プログラム (DUDP) (2回生派遣)	夏期休暇中 2~4週間 春期休暇中 2~4週間 春期休暇中 4週間 夏期休暇中 7週間 夏期出発 1セメスター (14週間) 春期出発 1セメスター (6ヶ月間) 夏期出発 1学年間 夏期出発 1学年間 夏期出発 1学年間 春期出発 1学年間 夏期出発 1学年間 春期出発 1学年間 夏期出発 1セメスター (一部協定校のみ1セメスター可) 夏期出発 基本2学年間 (2回生の8月~) 夏期出発 基本2学年間 (2回生の4月~) 夏期出発 基本2学年間 (2回生の8月~)	立命館大学の留学プログラム
アドバント型	アメリカ大学 (AU) サフォーク大学 (SU) アルバータ大学 (UA) 春期出発 ブリッジプログラムコース アルバータ大学 (UA) 夏期出発コース	夏期出発 基本2学年間 (2回生の8月~)	立命館大学の留学プログラム

*上記の留学プログラム参加にあたって奨学金が支給されます。奨学金の詳細は、P.38を参照してください。

*上記留学プログラムへの参加を希望する正規の外国人留学生は、各プログラムの募集要項で条件などの詳細を確認してください。

*上記プログラムは変更になる可能性があります。必ず募集要項で詳細を確認してください。

1回生時からのDUDP派遣を希望する人は、入学前にグローバル・ゲートウェイプログラム (GGP) に合格することが必要です（応募可能学部、条件については国際教育センターにお問い合わせください）。

04 各学部・教学機関の留学プログラム

各学部・教学機関において下記の留学プログラムが実施される予定です。詳しくは各学部・教学機関の募集要項やホームページ等を参照してください。

2014年3月現在

学部	プログラム名	国もしくは地域(機関)	期間
法学部	法政海外フィールド・スタディ(オーストラリア国立大学)	オーストラリア(オーストラリア国立大学法学院)	2月の2週間
	交換留学プログラム	中国(清华大学、北京大学、南京大学、上海交通大学) 台湾(国立台湾大学、国立政治大学) 韓国(中央大学)	8、9月～翌年6、7月の約11ヶ月間 2、3月～12、翌年1月の約11ヶ月間
	法政特殊講義(アセアン・スタディー)	インドネシア、タイ、ラオス	2月の10日間程度
産業社会学部	「Study Abroad Program」 産業社会学部英語副専攻海外研修プログラム	オーストラリア クイーンズランド州 (ササンクイーンズランド大学)	8月～9月の5週間
	「スポーツ社会専門特殊講義」 アメリカ・サンディエゴ州立大学および フェニックス近郊における短期研修プログラム	アメリカ合衆国 (サンディエゴ州立大学およびフェニックス近郊)	8月上旬の2週間程度
	「企画研究」中国の社会と文化	中国(蘇州大学)	9月中下旬の1週間
	「企画研究」国際メディア比較研究～日韓のメディアを学ぶ～ ～日韓メディア比較研究II ～日韓メディア比較から国際的学びへの扉を開く～	韓国(西江大学)	9月の8日間程度
	「企画研究」アジアスポーツ文化研究と韓国スタディプログラム	韓国(漢陽大学、大邱大学)	
	「企画研究」北欧社会を丸ごと学び、訪問する	スウェーデン(Linnaeus University)	8月～9月の2週間程度
	研究入門フォーラム 中国プロジェクト 研究入門フォーラム タイプロジェクト 研究入門フォーラム ベトナムプロジェクト 研究入門フォーラム インドネシアプロジェクト 研究入門フォーラム 韓国プロジェクト 東北財経大学との学生交換プログラム 北京理工大学との学生交換プログラム 国民大学との学生交換プログラム	中国 タイ ベトナム インドネシア 韓国 中国(東北財経大学) 中国(北京理工大学) 韓国(国民大学)	8月～9月の2週間程度
政策科学部	東アジア現地実習(中国) 東アジア現地実習(韓国) 海外エリアスタディ実習:地域観光学フィールドワーク (マレーシア・シンガポール) 海外エリアスタディ実習(ハワイ大学)	中国・桂林、程陽、北京または上海 韓国・高麗大学 マレーシア・シンガポール アメリカ合衆国・ハワイ大学マノア校	8月～9月の4週間 8月～9月の2週間程度 8月下旬～9月上旬のうち2週間 2月中旬～3月上旬の3週間程度
	日本語教育特別研修II(韓国ソウル) 日韓中連携講座	韓国(祥明大学校) 韓国・釜山(東西大学校)または 中国・広州(広東外語外貿大学)	9月の1週間 2月の1週間程度
	特殊講義(専門I) 「近代ハリウッド映画におけるCG発展の歴史」	アメリカ合衆国	9月の10日間程度
	海外アカデミックプログラム(短期)	オーストラリア(ホーリン・メルボルン英語学校) カナダ(ブリティッシュコロンビア大学) ニュージーランド(マッセイ大学) 中国(大連外国语大学)	8月～9月の5週間程度 2月～3月の4週間程度
	海外アカデミックプログラム(長期)	中国(大連外国语大学)	9月～翌年1月の約5ヶ月間 3月～7月の約5ヶ月間 9月～翌年7月の約11ヶ月間 3月～翌年1月の約11ヶ月間
	ハンガリー(ブダペスト商科大学)		9月～翌年1月の約5ヶ月間
	海外フィールドワークプログラム(短期)	タイ・ラオス(タイ国立開発行政研究院(NIDA))	8月～9月の2週間程度
経済学部	Business Studies Abroad I	ニュージーランド(マッセイ大学) アメリカ合衆国(ウェスタンミシガン大学) 中国(蘇州大学) 韓国(建国大学)	8月～9月の4週間
		アメリカ合衆国(カリフォルニア大学デービス校)	8月～9月の3週間
		アメリカ合衆国(カリフォルニア大学デービス校)	8月～9月の4週間
		アメリカ合衆国(カリフォルニア大学デービス校)	8月～9月の4週間

学部	プログラム名	国もしくは地域(機関)	期間
経営学部	Business Studies Abroad II(交換留学)	スウェーデン(ストックホルム大学ビジネススクール)	8月～翌年1月の約6ヶ月間
		中国(大連外国语大学)	3月～7月の約5ヶ月間 9月～翌年1月の約5ヶ月間
		中国(对外経済貿易大学)	3月～7月の約5ヶ月間 9月～翌年1月の約5ヶ月間
		ニュージーランド (オークランド工科大学ビジネススクール)	2月～6月の約5ヶ月間
		フランス (ストラスブール大学EMストラスブールビジネススクール)	
		フランス (フランスビジネススクール・ボアティエキャンパス)	9月～12月の約4ヶ月間
		フランス (フランスビジネススクール・トゥールキヤンパス)	
経営学部	Business Studies Abroad III(海外実習II)	ドイツ(ブレーメン州立経済工科大学)	9月～翌年2月の約6ヶ月間
		タイ(タマサート大学ビジネススクール)	8月～12月の約5ヶ月間
		カナダ・バンクーバー	8月～9月の5週間程度 2月～3月の5週間程度
		スウェーデン (ストックホルム大学ビジネススクール)	8月～翌年6月の約11ヶ月間
		中国(大連外国语大学)	3月～翌年1月の約11ヶ月間 9月～翌年7月の約11ヶ月間
		中国(对外経済貿易大学)	3月～翌年1月の約11ヶ月間 3月～翌年7月の約17ヶ月間
		ニュージーランド (オークランド工科大学ビジネススクール)	9月～翌年7月の約11ヶ月間
理工学部	Business Studies Abroad IV(交換留学)	フランス (ストラスブール大学EMストラスブールビジネススクール)	2月～11月の約10ヶ月間
		フランス (フランスビジネススクール・ボアティエキャンパス)	
		フランス (フランスビジネススクール・トゥールキヤンパス)	9月～翌年5月の約9ヶ月間
		ドイツ(ブレーメン州立経済工科大学)	9月～翌年7月の約11ヶ月間
		タイ(タマサート大学ビジネススクール)	8月～翌年5月の約10ヶ月間
		イギリス(レディング大学)	8月～翌年3月の約8ヶ月間
		イングリッシュ・ディプロマコース ハワイ大学夏期留学プログラム	アメリカ合衆国(ハワイ大学)
情報理工学部	Business Studies Abroad IV(派遣型)	環境システム工学科 海外環境スタディ	8月～9月の1週間～10日程度
		立命館グローバルエンジニアプログラム Ritsumeikan Global Engineer Program (RGEP)	タイ
		ワシントン大学夏期海外IT研修プログラム	アメリカ合衆国(ワシントン大学)
		インド・ネ(シンガポール国際大学)	8月～9月の5週間
		クイーンズランド工科大学春期海外IT研修プログラム	オーストラリア(クイーンズランド工科大学)
		中国・東北大学ソフトウェア学院短期IT研修プログラム	中国(東北大学)
		中国・大連交通大学短期IT研修プログラム	中国(大連交通大学)
生命科学部	生命科学部 薬学部 スポーツ健康科学部	カリフォルニア大学デービス校 「サイエンス&テクノロジー」プログラム	アメリカ合衆国(UCデービス)
		国際平和交流セミナー	中国
		国際社会で活躍する人材養成特別プログラム	韓国
		中国語・文化研修セミナー	※派遣先は、年度によって変わります
		孔子学院 留学奨学金制度	中国(派遣先大学は調整中)
			調整中
			中国(北京大学・同済大学、ほか)
経営学部	Business Studies Abroad I plus	※上記には、海外で実習するインターンシップ科目は除いています。	9月～1セメスターまたは2セメスター
		※上記プログラムは、変更になる可能性があります。詳細は、募集要項や各学部・教学機関事務室で確認してください。	
		※プログラムによっては、奨学金が支給されます。詳細は、募集要項で確認してください。	

※上記には、海外で実習するインターンシップ科目は除いています。
※上記プログラムは、変更になる可能性があります。詳細は、募集要項や各学部・教学機関事務室で確認してください。
※プログラムによっては、奨学金が支給されます。詳細は、募集要項で確認してください。

05 応募～留学までのスケジュール（全学募集プログラム）

募集要項配布・募集説明会

国際教育センターで各プログラムの募集要項が配布されます。プログラムの詳細、選考日程などが詳しく記載されていますのでよく読んで応募してください。窓口配布のほか、国際教育センターホームページからもダウンロードできます。また、募集説明会も行われます。^{※1}

参加者選考

選考方法はプログラムによって異なります。書類選考（志望理由、学業成績、TOEFL®スコアなど）、面接などを組み合わせ、総合的に選考を行います。

合格発表

合格発表の時から留学の準備は始まっています。すみやかに配布書類を受け取って、必要な手続きを始めましょう。

各種ガイダンス

合格者ガイダンス	合格後の手続き、海外旅行保険等の説明
保健センターガイダンス	予防接種について、現地での健康管理などについての説明
キャリアガイダンス	留学前、留学中、帰国後の進路について（準備・構成）※長期プログラムのみ
危機管理ガイダンス	海外での安全管理についての説明
ビザ申請・渡航前ガイダンス	ビザ申請について、渡航手続き、海外旅行保険手続、留学前、留学中、帰国後の諸手続についての説明
事前研修・講義など	プログラムによって日程等が異なります

留学

各プログラムの渡航日程に従って出発します。

タイプ	出発時期/期間	2014年												2015年												2016年													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～9月													
イニシエーション型	夏期休暇中4週間	募集説明会				合格発表～各種ガイダンス等		留学																															
	春期休暇中4週間					募集説明会					募集説明会				合格発表～各種ガイダンス等		留学																						
モチベーション型	夏期休暇中2～7週間	募集説明会				合格発表～各種ガイダンス等		留学																															
	春期休暇中2～4週間					募集説明会					募集説明会				合格発表～各種ガイダンス等		留学																						
モチベーション向上型	夏期出発1セメスター	募集説明会				合格発表～各種ガイダンス等		留学																															
	春期出発1セメスター					募集説明会					募集説明会				合格発表～各種ガイダンス等		留学																						
アドバンスト型	夏期出発1学年間										募集説明会				合格発表～各種ガイダンス等		留学																						
	春期出発1セメスター1学年間					募集説明会						合格発表～各種ガイダンス等					留学																						
アドバンスト型	夏期出発1セメスター1学年間										募集説明会				合格発表～各種ガイダンス等		留学																						
	春期出発1セメスター1学年間										募集説明会				合格発表～各種ガイダンス等		留学																						
データ・資料	春期出発2学年間 ^{※2}					募集説明会					募集説明会				合格発表～各種ガイダンス等		留学																						
	夏期出発2学年間										募集説明会				合格発表～各種ガイダンス等		留学																						



イニシエーション型プログラム

語学力の増進と異文化体験を主要な目的としたプログラム

01 立命館・昭和ボストン「文化・社会調査」プログラム

プログラムの特徴

アメリカ・ボストンにある昭和女子大学ボストン校において、アメリカの社会や文化に关心を持ち、海外生活体験を希望する学生を対象とした入門プログラムです（アメリカ文化・ビジネス英語）に分かれて学修します。日本語スタッフ体制も充実しており、期間中の学修および生活上の指導・サポートを行います。昭和女子大学他の学生との合同プログラムです。

選択テーマ

- ①アメリカ文化：ボストンはアメリカの歴史が始まった場所であり、さまざまな歴史的事件が展開された場所です。史跡等を訪れアメリカ文化を肌で感じ、理解を深めます。
- ②ビジネス英語：ビジネスの視点から英語を学びます。また、企業や機関などを訪問し、アメリカのビジネスについて実践的に学びます。

夏期
出発語学要件
なし

派遣先機関・都市の概要

派遣先 昭和女子大学ボストン校（アメリカ合衆国・ボストン）

昭和女子大学が所有・経営する教育宿泊施設で、閑静な高級住宅街に位置します。教員スタッフはアメリカ人の学長を中心に地域に密着した優秀な人ばかりです。

こんな人にオススメ！

アメリカ・ボストンへの社会的・文化的の关心を持ち、海外留学体験を希望する人。

プログラム実施時期	8月～9月の約4週間
滞在形態	寮
募集人数／応募資格	50名／学部1～4回生、薬学部1～6回生、ただし9月卒業の可能性のある場合を除く（国際関係学部・政策科学部9月入学者：応募時点で1～3回生）／語学要件なし
要項配布／募集時期	4月上旬／4月中旬（予定）
開講期間・単位	後期開講科目・2単位（5段階評価）
費用	2013年度実績 628,469円
奨学金	2013年度実績 80,000円

02 立命館・ボストン大学「英語とアメリカ文化」プログラム

プログラムの特徴

ボストン大学の付属英語教育機関であるCELOP（Center for English Language and Orientation Programs）で英語を集中的に学ぶプログラム。レベルごとに十数名のクラス編成で、英語によるコミュニケーション能力の向上と海外の大学での学習技法の修得を目指し、今後の海外留学を視野に入れた英語力を修得します。正規開講科目の聽講も可能なプログラムです。

- ①午前：コア科目（英語必修科目）
- ②午後：選択科目（アメリカ社会と文化、アメリカ政治と世界など）、正規開講科目聽講など
- ③エッセイライティング（レポート作成とプレゼンテーション）
- ④フィールドトリップ（博物館、史跡など）

春期
出発語学要件
なし

派遣先機関・都市の概要

派遣先 ボストン大学CELOP（アメリカ合衆国・ボストン）

アメリカ・マサチューセッツ州にある国内で4番目に大きい私立総合大学。人文・教育・経営・工学・自然科学の分野に250以上の専攻・副専攻を備え、著名な教授陣が教鞭をとっている。CELOPは25年を超える歴史があり、その質とレベルの高さはボストンでも有数です。

こんな人にオススメ！

中長期の留学などに向けて、英語力の総合的なスキルアップを図りたい人。

プログラム実施時期	2月～3月の約4週間
滞在形態	寮
募集人数／応募資格	50名／全学部1～3回生、薬学部1～5回生（国際関係学部・政策科学部9月入学者：応募時点で1～4回生、ただし3月卒業の可能性のある場合を除く）／語学要件なし
要項配布／募集時期	7月上旬／9月下旬（予定）
開講期間・単位	後期開講科目・2単位（5段階評価）
費用	2013年度実績 703,855円
奨学金	2013年度実績 80,000円

03 異文化理解セミナー（14コース）

プログラムの特徴

語学学習と国際的視野を養う海外留学の入門的プログラムです。英語圏、中国語圏、朝鮮語圏、フランス語圏、ドイツ語圏、スペイン語圏の大学で14コースが設置されています。派遣先大学において、外国語学習、外国語による社会・文化・政治・経済・歴史事情を軸とする異文化理解に関する講義などを受け、各自のテーマについてレポートにまとめたり、プレゼンテーションを行います。フィールドトリップも実施し、施設見学・地域社会との交流なども行います。

こんな人にオススメ！

外国語のスキルアップを図りたい人。異文化理解・国際交流に興味のある人。

プログラム実施時期	2月～3月の約4週間
応募資格	英語圏：学部1～3回生、薬学部1～5回生（国際関係学部・政策科学部9月入学者：応募時点で1～4回生、ただし3月卒業の可能性のある場合を除く）／語学要件なし 初修外国語圏：学部1～3回生（薬学部を除く）（国際関係学部・政策科学部9月入学者：応募時点で1～4回生、ただし3月卒業の可能性のある場合を除く）／語学要件なし
要項配布／募集時期	7月上旬／9月下旬（予定）
開講期間・単位	後期開講科目・2単位（5段階評価）
費用	2013年度実績は下表参照
奨学金	2013年度実績は下表参照

派遣先およびコース概要

研修言語	国・地域	都市	大学（コース）名	滞在形態	募集人數	費用 (2013年度実績)	2013年度 奨学金実績
英語	アメリカ合衆国	ジャクソンビル	イリノイカレッジ	ホームステイと寮	25名	453,432円	
		ノーマン	オクラホマ大学	ホームステイと寮	25名	507,081円	
	カナダ	ケローナ	オカナガンカレッジ	ホームステイ	30名	493,868円	
	イギリス	コベントリー	ウォーリック大学	ホームステイ	25名	497,073円	
		ノリッ奇	NEW (2014年度より) イーストアングリア大学	ゲストハウス	20名	500,000円 (予定)	
オーストラリア	オーストラリア	メルボルン	メルボルン大学	ホームステイ	30名	625,150円	
		ニュージーランド	ウェリントン	ウェリントンビクトリア大学	ホームステイ	25名	616,599円
中国語	中国	天津	南開大学	寮	30名	247,126円	
		台湾	台北	国立台湾師範大学	ホームステイと寮	24名	260,765円 (2012年度実績)
朝鮮語	韓国	ソウル	高麗大学	寮等	24名	234,291円	
		トゥールーズ	トゥールーズミラーユ大学	ホームステイ	24名	518,997円	
フランス語	フランス	チューリンゲン	チューリンゲン大学	寮等	24名	367,446円	
		スペイン	アルカラデエナレス	アルカラ大学	ホームステイ	24名	474,981円
スペイン語	メキシコ	グアダラハラ	モンテレイ工科大学	ホームステイ	24名	411,733円 (2012年度実績)	

参加費によって異なります
25万円以上 : 8万円
20万円以上 : 4万円
10万円以上 : 3万円

※奨学金の詳細はP.38を参照してください。

異文化理解セミナー コース紹介

1 イリノイカレッジ

- 国・地域 / アメリカ合衆国
- 都市 / ジャクソンビル (イリノイ州)
- 人口 / 約2万人
- 都市の特徴 / 緑豊かで美しく、落ち着いた平和で豊かな町
- 創立 / 1829年
- 公私 / 私立 (キリスト教系)
- 学生数 / 約1,000人
- 大学の特色 / リベラルアーツ (一般教養)を中心とした教育内容は全米でも高く評価されています。
- 学習内容 / 英語学習、アメリカの文化・社会
- フィールドリップ・アカデミー / シカゴ滞在、小学校訪問、盲学校・聾学校訪問、日本紹介イベント「Matsuri」の企画・実施



2 オクラホマ大学

- 国・地域 / アメリカ合衆国
- 都市 / ノーマン (オクラホマ州)
- 人口 / 約10万人
- 都市の特徴 / 大学街
- 創立 / 1900年
- 公私 / 州立
- 学生数 / 約30,000人
- 大学の特色 / ○「西部にも大学を」という開拓者の願いで創立
○19学部で構成される総合大学
○スポーツが盛んで、特にアメリカンフットボールとバスケットボールは全米でも有数の強さを誇る
- 学習内容 / 英語学習、各国からの留学生と学ぶ「コミュニケーション」「ライティング」
- フィールドリップ・アカデミー / 野生動物保護区訪問、日本紹介イベント「Japan Night」の実施、国際交流イベント「Culture Night」



3 オカナガンカレッジ

- 国・地域 / カナダ
- 都市 / ケローナ
- 人口 / 約11万人
- 都市の特徴 / 夏は有数の保養地、冬はスキーリゾートとして知られ、自然に恵まれた小都市
- 創立 / 1963年
- 公私 / 州立
- 学生数 / 約5,100人
- 大学の特色 / ○バンクーバーの中心地から東へ400km
○もともと住民に高等教育の場を提供するために設立された、地域に根ざした教育機関
- 学習内容 / 英語学習、カナダの文化・歴史・地理
- フィールドリップ・アカデミー / スキー・チューピング・スケート・カーリング体験、ワイン醸造所訪問、市庁舎、バンフ国立公園滞在、市庁舎訪問



4 ウォーリック大学

- 国・地域 / イギリス
- 都市 / コベントリー
- 人口 / 約30万人
- 都市の特徴 / ○ロンドン郊外
○自動車産業とコベントリー大聖堂有名
- 創立 / 1965年
- 公私 / 国立
- 学生数 / 22,000人
- 大学の特色 / ○ニュージーランドでも有数の大学
○先住民族であるマオリ人学生の受入にも積極的で、キャンパスは、文化・民族の多様性に富んでいる
- 学習内容 / 英語学習、ニュージーランドの文化・自然・マオリ人の文化
- フィールドリップ・アカデミー / ロトルア、街と海の博物館、国立博物館、動物園



- 学生数 / 約17,000人
- 大学の特色 / ○伝統的な学問觀にとらわれず、新しい分野の学部・学科を数多く設置
○とりわけ、経済学および英語教員養成・外国人に対する英語教育が有名で、英国研究レベルランキングではトップ5に数えられている。
- 学習内容 / 英語学習、コミュニケーション、アカデミックライティング、プレゼンテーションスキル、イギリスの文化
- フィールドリップ・アカデミー / ウォーリック城、ケニルワース城、シェイクスピア生誕地訪問



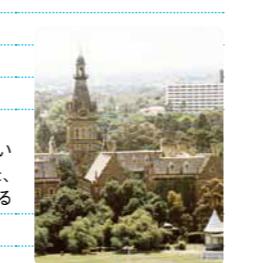
5 イーストアングリア大学

- 国・地域 / イギリス
- 都市 / ノリッジ
- 人口 / 約15万人
- 都市の特徴 / 中世から栄えてきた都市で、12世紀に建設されたノリッジ城や大聖堂を誇る歴史的な街。昔ながらの露店が今もなお健在。
- 創立 / 1963年
- 公私 / 公立
- 学生数 / 約15,000人
- 大学の特色 / ○世界のトップ1%の大学と位置付けられており (Times紙 2013年)、またThe Times Higher Education Student Experience Survey 2013の学生満足度調査においても一位を取得。
○過去50年に渡って、UEAは環境科学、国際開発学、クリエイティブ・ライティングの分野において教育のパイオニアである。
- 学習内容 / 英語学習、イギリスの文化
- フィールドリップ・アカデミー / ノーフォーク散策・ノリッジ城・博物館・スポーツ・映画鑑賞会



6 メルボルン大学

- 国・地域 / オーストラリア
- 都市 / メルボルン (ビクトリア州)
- 人口 / 約380万人
- 都市の特徴 / ○オーストラリア第二の都市
○熱帯雨林から雪の積もった美しい山々やコアラなどの動物といった、様々な自然の姿を見ることが出来る
- 創立 / 1855年
- 公私 / 公立
- 学生数 / 約35,000人
- 大学の特色 / 数々のノーベル賞受賞者や首相などを数多く輩出している
- 学習内容 / 英語学習、オーストラリアの文化
- フィールドリップ・アカデミー / ブッシュトリップ、メルボルン博物館、ジャバニーズクラブの学生とバーベキュー、国立美術館



7 ウェリントンビクトリア大学

- 国・地域 / ニュージーランド
- 都市 / ウェリントン
- 人口 / 約38万人
- 都市の特徴 / ○首都であり、政治・商業・文化的中心地
○政府の中核機関、国立の図書館、美術館、博物館などの諸施設の見学・利用を通じて、ニュージーランドの文化の多彩さや国内最高レベルの芸術に触れることが出来る
- 創立 / 1899年
- 公私 / 国立
- 学生数 / 22,000人
- 大学の特色 / ○ニュージーランドでも有数の大学
○先住民族であるマオリ人学生の受入にも積極的で、キャンパスは、文化・民族の多様性に富んでいる
- 学習内容 / 英語学習、ニュージーランドの文化・自然・マオリ人の文化
- フィールドリップ・アカデミー / ロトルア、街と海の博物館、国立博物館、動物園



8 南開大学

- 国・地域 / 中国
- 都市 / 天津
- 人口 / 約1,115万人
- 都市の特徴 / 北京から東北へ120km
環渤海湾地域の経済の中心地
- 創立 / 1919年
- 公私 / 国立
- 学生数 / 約22,000人



- 大学の特色 / ○華北では北京大学、清華大学に次ぐ名門
○全国重点大学の一つ
○故周恩来氏の母校
○本学とは1985年から学術交流、1992年からは交換留学を実施
- 学習内容 / 中国語学習、二胡、京劇、書法、中国画、太極拳、中国文化
- フィールドリップ・アカデミー / 上海、北京、杭州、蘇州

9 国立台湾師範大学

- 国・地域 / 台湾
- 都市 / 台北
- 人口 / 約260万人
- 都市の特徴 / 政治、商業、教育、大衆文化、物流の中心地
- 創立 / 1946年地方教員養成学校 (1955年に大学へ)
- 公私 / 国立 (1967年より)
- 学生数 / 約7,000人



- 大学の特色 / ○8学部
○中等教育の教員養成が学部教学の主な役割
- 学習内容 / 中国語学習、文化授業 (中国ヨーヨー、カンフー、中国絵画、書道、茶道など)
- フィールドリップ・アカデミー / 阿里山、日月潭、故宮博物院、鶯歌、三峡

10 高麗大学

- 国・地域 / 韓国
- 都市 / ソウル
- 人口 / 約1,042万人
- 都市の特徴 / ○首都
○全国民の約1/5が在住
- 創立 / 1905年
- 公私 / 私立
- 学生数 / 約34,000人



- 大学の特色 / ○独立運動や国民運動に重要な役割を果たした多くの指導者を輩出
○韓国有数の私立大学
- 学習内容 / 韩国語学習、サムルノリ、韓国工芸・韓国料理などの体験授業
- フィールドリップ・アカデミー / 板門店、民俗村

11 トゥールーズミラーユ大学

- 国・地域 / フランス
- 都市 / トゥールーズ
- 人口 / 約43万人
- 都市の特徴 / ○パリ、マルセイユ、リヨンに次ぐ第4の都市
○中世以来の古い伝統を誇る文化と学術の町
- 創立 / 1229年
- 公私 / 国立



- 学習内容 / スペイン語学習、スペイン文化
- フィールドリップ・アカデミー / メキシコシティ、ブエノスアイレス

- 学生数 / 約27,000人

- 大学の特色 / ○特に文学関係に著名な研究者が多い
○言語学、外国語教育においてもフランス有数
- 1985年に日本語学科も設置され、日本に対する関心が高まっている

- 学習内容 / フランス語学習、フランスの文化
- フィールドリップ・アカデミー / トゥールーズ近郊 (アルビ、コルド、コリュール、セレ)、パリ

12 チュービンゲン大学

- 国・地域 / ドイツ
- 都市 / チュービンゲン
- 人口 / 約8万3000人
- 都市の特徴 / ○古くからの大学都市で、ロマンティックな佇まいでとても美しい
○その昔、世界に知られた詩人、哲学者、学者の多くが若き日々を過ごした場所
- 創立 / 1477年
- 公私 / 州立
- 学生数 / 約24,000人
- 大学の特色 / ○13コースを持つ総合大学
○日本語学科も設置されており日本に対する関心が高まっています。
- 学習内容 / ドイツ語学習、ドイツ文化
- フィールドリップ・アカデミー / ウルム、フライブルク、ストラスブル (フランス)



13 アルカラ大学

- 国・地域 / スペイン
- 都市 / アルカラデエナレス
- 人口 / 約20万人
- 都市の特徴 / ○首都マドリードから東へ約30km
○同地区、同大学は世界文化遺産にも指定
- 創立 / 1499年
- 公私 / 公立
- 学生数 / 約23,000人
- 大学の特色 / ○17学部を持つ総合大学
○付属機関・施設として、病院や植物園があります。
- 学習内容 / スペイン語学習、スペイン文化
- フィールドリップ・アカデミー / トレド、セゴビア、バルセロナ、セビリア・グラナダ・コルドバ (アンダルシア地方)



14 モンテレイ工科大学

- 国・地域 / メキシコ
- 都市 / グアダラハラ
- 人口 / 約164万人
- 都市の特徴 / ○メキシコ第2の都市
○南米文化的雰囲気に満ちた美しい街
- 創立 / 1943年
- 公私 / 私立
- 学生数 / 約90,000人
- 大学の特色 / 各分野で国際的に通用する能力の育成と、コミュニティの社会的、経済的、政治的向上に活躍する人材育成をミッションとして掲げています。
- 学習内容 / スペイン語学習、スペイン文化
- フィールドリップ・アカデミー / メキシコシティ、ブエノスアイレス



● 留学体験記

USA

立命館・ボストン大学
「英語とアメリカ文化」プログラム

英語に不安がある人でも大丈夫

このプログラムは、英語が少し苦手だけど留学に行ってみたい人や初めて海外に行く人にオススメのプログラムです。講義は、「英語」と「アメリカ社会と文化」に分かれていて、クラス分けテストの結果により、少人数かつレベル別のクラスに分けられます。「英語」の講義では英文法などを学ぶ他、ゲームをしたり、アメリカの暮らしや文化について先生の話を聞いたり、とても楽しく講義を受けられました。「アメリカ社会と文化」の講義では教室を飛び出し、毎週、ボストンの史跡や観光地を巡るフィールドトリップに出かけました。また、ボストン大学の正規開講科目を聽講することもでき、少し緊張感を持ちながら講義に臨みました。

ボストンの魅力

ボストンの特徴は①有名な大学があり学生が多いこと、②スポーツが盛んなこと、③アメリカ最古の街であることです。ハーバード大学やMITのような世界的に有名な大学を始め、100を超える大学がある学生の街です。事実、私達が講義を受けたボストン大学の言語教育機関CELOPには、世界中から留学生がきていました。またボストンではスポーツも盛んです。カレッジスポーツも人気ですが、プロスポーツ、特にバスケットボールと野球は非常に人気を博しています。さらにアメリカで最初に地下鉄網が生まれたのもボストンです。街並みはとてもきれいで、もう一度行きたいとなる街です。



現地の人達との交流

講義の一環で、ボストン大学で日本語を勉強している教室に行きましたが、その学生と一緒にランチに行ったり、休日に遊びに行ったり、交流を深めました。今でも続いている大事なつながりです。様々な国籍の学生がいて、講義外ではお互いの国のこと話し合って異文化について知ることができました。英語が苦手な人は現地の学生と仲良くなるために、自分の趣味や特技など話せそうな話題について事前に単語等を調べておけば、スムーズに自己紹介ができると思います。このような経験も留学において大切だと思います。日本でも外国の文化を知ることはできますが、海外で実際に異文化を肌で感じて得られるものはまた違ったものです。



留学で得たもの

主体的かつ積極的に行動できる力を得られたと思います。このプログラムは寮生活ですが、基本的に自分で自分のことをします。そして何事に対しても積極的に行動しなければいけません。誰かに頼るのではなく自分で行動する方が有意義に過ごせます。最初は戸惑うこともありましたが、楽しみながら一ヶ月間過ごせました。実際にアメリカの文化や、現地の人の生活に触れてみて、初めてアメリカという国について少し知ることができました。

UK

異文化理解セミナー
ウォーリック大学

イギリスの田舎町

留学先でホームステイする街はコベントリー地区とケニルワース地区の二通りあり、私はケニルワースで暮らしました。ケニルワースは雪が降り積もるかなりの田舎でしたが、通学路には小さな店が集まつた商店街や、西洋らしい立派な教会があり、その可愛らしい街並みを見ながら毎日バス停まで歩く道のりが楽しかったです。また、地元の方たちでにぎわうブリティッシュババも数軒あり、ケニルワース組のみんなと一緒にそこでサッカー中継を観たのもいい思い出です。



政策科学部 繁田 敦紀 さん

留学先 ウォーリック大学 | イギリス・コベントリー
参加期間 4週間 参加時2回生

倒されてしまいました。城を登って屋上に出てみると綺麗な街並みを一望でき、その上に一本の虹が架かっていました。しばらくして消えてしまいましたが、日本で見ることのできないような大きな虹でした。この光景にとても感動して、「これから留学生活、きっと素晴らしいものになるに違いない。」そんな予感がした、留学生活の転機となった忘れられない瞬間です。

留学を終えて

私は留学を経験して、日本に対する意識が変わりました。当初は長年憧れ続けたイギリスに行くことができ、もう日本に帰りたくないのではないかと思っていました。でもホームステイで一緒に暮らしたフランス人留学生たちと自分の国について語り合ったり、現地の料理、文化、習慣を肌で感じていかで、今まで身近すぎて気づかなかった日本の姿がだんだんと見えてきました。そして自分が生まれ育った日本についてもっと知りたいという気持ちになりました。今回、知らない土地で知らない人たちと暮らす中で視野が広がったのを実感し、どこへも自分から足を踏み入れチャレンジし、色々なことを新たに吸収することの大切さを学びました。その方がきっと人生は楽しいだろうと思います。これからは自分が育った日本に貢献できるように、イギリスで過ごした最高の日々を胸に頑張っていこうと思います。



経済学部 朱山 宇拓 さん

留学先 高麗大学 | 韓国・ソウル
参加期間 4週間 参加時1回生



丁寧な講義とたくさんのアクティビティ

講義は主に平日の午前のみで、昼からアクティビティや各自の自由時間でした。立命館大学の学生だけでネイティブの先生の講義を受けます。授業は韓国語で行われ、テキストも韓国で出版されているもので、宿題も出ます。日本語を多少話せる先生もいるので、韓国語が少し苦手な人でも安心です。少人数制の講義なので、先生は全員が理解するまで教えてくれ、講義で習ったことを応用して、大学内のコンビニで実際に買い物をしてみるという実践もしました。最終日には修了式もあり、高麗大学の印が入った証書を授与されます。アクティビティは主に土日にあり、世宗大王の墓所や民俗村などを見学して韓国の文化や歴史を学んだり、ソウルの市内観光、陶磁器、キムチ、トッポギなど韓国の伝統的なものを作る体験もしました。プログラム以外のアクティビティとしては、大学内にあるオリンピック金メダリストも滑っていたというスケートリンク場でスケートをしたり、地下鉄を乗り継いでスキー場に行きスノーボードを楽しんだりもしました。

高麗大学の環境

高麗大学は、BKCよりはるかに大きく、初めのうちは大学内で迷つたりもしました。大学近くはやはり学生街なだけあって、お店が多くありショッピングを楽しんだり、いろんな料理も満喫でき、とても過ごしやすいです。

KOREA

異文化理解セミナー
高麗大学

留学の思い出と多国籍異文化理解

南北境界線付近のDMZを訪問したことがとても印象に残っています。多くの警察官や軍隊が配備され、ビリビリと張り詰めた雰囲気を肌で感じることができました。また、高麗大学で自分たちと同じように留学に来ていたアメリカ人と友だちになり、彼の友だちと立命館の仲間と一緒にチムジルバン（韓国式のスーパー銭湯）に行つたこともいい思い出です。彼が日本語を話したことをきっかけに会話をするようになりました。お互い留学期間が違ったので本当に短い期間でしたが、日本語、韓国語、英語といろんな言語を使って会話をしたり遊んだりと、これが本当の異文化理解だなと感じました。

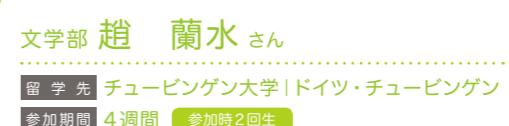
とにかく参加してみてください!

私は韓国のことについて全然知らなかったので、もっと知りたいと思いこのプログラムに参加しました。そして、実際あらゆる体験を通していろいろなことを学び、とても満足できるプログラムでした。K-POPや韓流ドラマが好きな人や、韓国に興味のある人はぜひ参加してみてください。また、初修外国語で朝鮮語を勉強しているなら、ぜひその成果を本場で発揮してみましょう!



GERMANY

異文化理解セミナー
チュービンゲン大学



ドイツへ1ヶ月の短期留学

最初の3日間は参加学生との交流を深めるために、ブラウボイレンにあるチュービンゲン大学の宿泊施設で現地の先生やチューターの方の授業を受けました。その授業では、ホームステイ先で役立つ表現をたくさん教えてくれたので、これから始まる生活の助けになりました。ホームステイは4日間でその間授業はなく、ホストファミリーと過ごしました。一緒に買い物を行ったり、ドイツ料理を作ったり、高校生の娘さんの学校に一緒に行って友達に紹介してもらったり、近くのホーエンツォレルン城に連れて行ってもらいました。ホームステイ中は基本的に他の立命館学生に会うことはなく、授業中とは比べ物にならないほどたくさんドイツ語を使い、一番勉強になりました。ホームステイ先の家族も英語はあまり話せなかったので、ドイツ語で会話をしていました。何と言えばいいか分からなときは、ジェスチャーを使ったり絵を描いたりしました。ホームステイ終了後は、大学からバスで15分ほど遙に入り、大学でドイツ語の授業を受けました。授業内容は会話を中心としたもので、帰国前には簡単な復習テストもありました。また、課外活動としてチュービンゲン市内や他の観光地に先生とチューターの方が連れて行ってくれる日もありました。そこでは自由時間もあり、お土産を買ったりご飯を食べたりしました。

思い出に残ったエピソード

チュービンゲン市は自然豊かな大学都市で、ヨーロッパらしい家屋や市場が多くあり、毎日歩いているだけでとても楽しかったです。たまに近くのレストランで食事もしました。メニューを解読するのは難しかったですが、お店の人にどんな料理なのか聞き、自分のドイツ語を試す場にもしていました。ドイツではお釣りをチップ代わりにウェイターさんに渡します。その時に“Stimmt So.”（お釣りは結構です）と言って渡すのですが、ドイツのコインが良くわからなかったので、会計より渡したお金が足りず、定員さんに苦笑いされながら「足りない。」と言われたこともあります。あわてて支払い、とても恥ずかしかったのですが、今ではいい思い出です。

帰国後の今は

以前はドイツ語の授業で分からず単語があると、どう話していいか困惑していたのですが、自分の知っている語彙に置き換えて伝えたり、留学前に比べてスムーズに会話できるようになりました。自信がつきました。短期でも長期でも、その国や地域が有名な所ではなくても、そこで何も学べないということは絶対にないはずです。ぜひ自分の興味のある国で新しい知識と広い視野を身につけてください。

モチベーション向上型プログラム

交換留学に準ずるレベルで、語学力を高めながら一定の外国語による現地での講義を受けるプログラム

04 國際インスティテュート海外スタディ(7コース)

プログラムの特徴

全学部生を対象とした国際インスティテュート主催の、夏期休暇や春期休暇を利用した短期の留学プログラムです。専門知識の習得を目的として実践的に学ぶアカデミックラーニング（英語による専門科目）と、調査実習を中心としたフィールドワークの2タイプのプログラムを設置しています。各プログラムにはテーマに沿った関連施設を訪れるフィールドトリップや、専門講義などが盛り込まれており、語学留学とは違った専門分野での実践型学習を中心としたプログラム内容となっています。専門講義では基本的に英語が使用されますが、初修外国語圏では派遣国の使用言語を学ぶ講座も開講されます。

こんな人にオススメ!

語学だけでなく専門分野をより深く学びたい人、フィールドワークに興味のある人。国際インスティテュート所属でない学生も応募可能です。

派遣先およびコース概要

実施時期・期間	国・地域	都市	プログラム名(研修先)	研修タイプ	滞在形態	募集人数	費用(2013年度実績)	2013年度 奨学金実績
夏 期	8~9月 約4週間	カナダ	バンクーバー (ブリティッシュコロンビア州)	サイモンフレーザー大学	アカデミック ラーニング	ホームステイ	45名	491,838円
	8~9月 約2週間	インドネシア	ジャカルタ(予定)		フィールド ワーク	ホテル	20名	236,737円
春 期	2~3月 約4週間	アメリカ 合衆国	ホノルル (ハワイ州)	ハワイ大学	アカデミック ラーニング	寮またはホテル	20名	468,201円
			ニューブランズウイック (ニュージャージー州)			寮 (食事は主に学生食堂)	15名	470,018円
	2~3月 約2週間		ニューヨーク (ニューヨーク州)	国際連合本部	フィールド ワーク	ホテル	25名	296,369円
2~3月 約4週間	オーストラリア	トゥーンバ (クイーンズランド州)	サザンクイーンズランド大学	アカデミック ラーニング	ホームステイ	20名	492,963円	25万円以上 :8万円 20万円以上 :4万円 10万円以上 :3万円
	ドイツ等 西欧を中心 に数ヶ国	フライブルク他	ヨーロッパスタディ (フライブルク大学他)		ホテル、寮 (食事は主に自炊) 等	25名	417,546円	

プログラム実施時期

夏期:8月~9月の約2~4週間
春期:2月~3月の約2~4週間
(コースによって異なります。下表参照)

応募資格

夏期:学部2~4回生、薬学部2~6回生、ただし9月卒業の可能性のある場合を除く(国際関係学部・政策科学部9月入学者:応募時点で1~3回生) / 語学要件なし*
春期:学部1~3回生、薬学部1~5回生(国際関係学部・政策科学部9月入学者:応募時点で2~4回生、ただし3月卒業の可能性のある場合を除く) / 語学要件なし*

要項配布/募集時期

夏期:4月上旬/4月中旬(予定)
春期:7月上旬/9月下旬(予定)

開講期間・単位

後期開講科目(5段階評価)・
2単位(2週間コース)4単位(4週間コース)
国際インスティテュート生は、海外スタディでの合計修得単位数が4単位以内となる場合のみ複数回参加が可能です。

費用

2013年度実績は下表参照

奨学金

2013年度実績は下表参照

*英語力に関する要件はありませんが、現地での英語による講義を受講し理解するためには、目安としてTOEFL ITP® 480 (TOEFL iBT® 54)点、またはTOEIC® 530点程度以上の英語力が必要です。



語学要件
なし

国際インスティテュート 海外スタディコース紹介

1 サイモンフレーザー大学

「カナダの多文化社会」

カナダ西岸のバンクーバーに所在するサイモンフレーザー大学は、政府・企業との共同研究等、社会との結びつきの強い大学です。



カナダの地理および歴史をはじめ、バンクーバーにおける多文化主義についての考察やカナダとアメリカの関係について理解を深めます。

2 インドネシア国際協力

「国際協力をこの目で」

インドネシアの首都ジャカルタに2週間滞在します。同国との国際協力について考えるにあたって、インドネシア大学でインドネシアの政治・経済・文化・人権問題など途上国の現状を知るための様々なテーマの講義を受けながら、日本政府関係機関及び国際NGOなどが実施している国際協力の現場を視察します。途上国の現状と開発協力の実態について学び、そこから見える課題を考えるプログラムです。また、インドネシア語研修を受ける機会もあります。



3 ハワイ大学

「多民族社会ハワイで学ぶマルチカルチャリズムとその歴史」

ハワイ・オアフ島にある名門ハワイ大学のハワイ・アジア太平洋学部で、専門科目の受講およびフィールドトリップへの参加を通して、アカデミックスキルを中心に据えた総合的な英語力を養います。



ハワイは日本および太平洋諸国とのつながりが深く、独自の豊かで多様な文化と歴史をはぐくんでいます。それを知り体験を重ねていくことで、ハワイ・太平洋学、日米関係、多文化共生、マルチカルチャリズム(多文化主義)などへの理解を深めています。アカデミックライティングの授業で、英語によるライティングの力も伸ばします。

4 ラトガーズ大学

「アメリカの大学生と学ぶ日米関係」

ラトガーズ大学は、アメリカ東海岸・ニュージャージー州の名門州立大学であり、NY市内から1時間のところに位置します。本プログラムでは、現地学生とのバディシステムがあり、各種交流行事も活発に開催されます。ラト

ガーズ大学側では本プログラムに対応するゼミが開講されており、同ゼミ生と本プログラムの参加者で日米合同ゼミを行います。

滞在中、アメリカ政治や日米関係に関するゲスト講義が提供される場合もあります。



5 国際連合本部

「国連本部で学ぶ国際公務」

ニューヨークの国際連合本部やその他国際機関を訪問し、第一線で働く職員から、活動内容、組織、システム、および世界情勢について講義を受けます。事前講義で学習した内容を元に、職員に質問する機会もあります。日本政府代表部への表敬訪問や国連で働く日本人職員とのディスカッションの機会も予定されています。



6 サザンクイーンズランド大学

「オーストラリアの社会・文化と国際関係」

サザンクイーンズランド大学はオーストラリア第3の都市ブリスベン近郊にあります。現地ではオーストラリアのアボリジニーの社会と文化、移民・多民族政策、アジア太平洋諸国との国際関係などについて英語で学びます。また、難民、移民サポートセンターや公立職業専門学校での移民のための英語クラスなど、本プログラムのテーマに合った見学の機会が用意されています。大きな魅力の一つはホームステイで、オーストラリアを肌で知ることができます。

※訪問先は年によって変わることがあります。



7 ヨーロッパスタディ

「EUの拡大とその現状(政治・経済・文化)」

西ヨーロッパを中心に数ヶ国(予定)を訪問しながら今日の欧州連合(EU)の政治や社会事情について学習します。EU諸機関へのフィールドトリップ・講義、および現地学生との交流を通してEUへの理解を深めます。プログラム後半はドイツ・フライブルク大学に滞在し、ドイツ語研修を受けながら、ドイツ文化などを学びます。



05 立命館・シモンズカレッジ「アメリカ社会とアメリカの国際関係」プログラム

プログラムの特徴

ボストンの女子大学シモンズカレッジにおいて、「アメリカ社会とアメリカの国際関係」をテーマに行われる講義で、英語による専門科目を学ぶレベルの高いプログラムです。専門講義を英語で受講することで、自らの専門分野における体系的な理解・知識を深め、今後の海外留学を踏まえた学習の足がかりとすることができます。



ディスカッションを通じて、英語で論理的に自分の考えを表現する能力を修得します。またボストン周辺やニューヨークへのフィールドトリップを通して、アメリカ社会や文化への理解を深めます。なお、現地コーディネーターの許可する科目に限り、学部の正規開講科目を聴講することも可能です。

派遣先機関・都市の概要

派遣先 シモンズカレッジ (アメリカ合衆国・ボストン)

マサチューセッツ州の中心都市ボストンに所在する女子大学で、1899年に創立された米国で最も伝統のある女子教育機関の一つです。全米ランキングでも上位に選出されており、優秀な教授陣による小集団クラスでの指導と、充実した学内設備が特色です。

06 立命館・マコーリー大学「日豪関係」プログラム

プログラムの特徴

より高度な留学に求められる語学力とアカデミックスキル(大学での学び方)の習得を目的とした英語の授業を中心とするプログラムです。オーストラリアの社会や日豪関係をテーマに、多くの分野をカバーする専門科目の講義、およびそれらの講義理解を助ける英語の授業が実施されます。その他、オーストラリアの自然や動物の観察旅行など多彩なフィールドトリップも予定されています。



派遣先機関・都市の概要

派遣先 マコーリー大学 (オーストラリア・シドニー)

マコーリー大学はオーストラリア・シドニーの北東部郊外に位置する公立大学で、学生数は3万人以上。うち大学院生が1万人以上在籍する、オーストラリア有数の大学院重点化大学です。言語学も有名で、オーストラリア国内最大規模の言語学部を誇り、英語教授法、通訳・翻訳などの分野において先導的地位を占めています。大学のあるノースライドはシドニー市内からバスで40~50分ほど離れた自然豊かな環境です。



1セメスター留学プログラム

07 立命館・ワシントン大学「平和学」プログラム

プログラムの特徴

繰り返される世界中の紛争や内戦の背景などを知るなど、平和構築をテーマにした立命館大学独自のユニークなプログラムです。また、ガンジーの非暴力運動の歴史について理解を深めるとともに、現代にどのように活かされているかを学びます。アメリカの大学のインタラクティブな授業スタイルの中で、論理的な考え方や積極的な発言力を身につけます。課題提出やリーディング量も多く充実した内容です。また、専門講義の理解を助ける英語サポート体制が整っており、難易度の高い講義にチャレンジできる力をつけます。その他、午後に英語選択科目があり、多国籍な環境の下で自分のレベルに合ったクラスで英語を学びます。

講義科目

①3週間集中プログラム

- 「歴史の中のガンジー」*
- 「アメリカの大学における学習の心得とアカデミックイングリッシュ」
- 「非暴力の理論と実践」*

②秋学期の講義

- 「アメリカの非暴力社会運動」*
 - 「平和学」*
 - 英語選択科目
- *各講義は、立命館大学生用の独自のプログラムで、講義の理解を助けるための英語によるサポートクラスがセットされています。

こんな人にオススメ!

一定の英語力があり、「平和学」に興味がある人。
海外の大学で専門的な学修を行いたい人。

プログラム実施時期	1セメスター (9月~12月の約14週間)
滞在形態	ホームステイと寮
募集人数／応募資格	30名／学部1~4回生(薬学部を除く)(国際関係学部・政策科学部9月入学者:応募時点で1~3回生) / TOEFL ITP®450 (TOEFL iBT®45)点以上、またはそれに相当するスコアを有すること
要項配布／募集時期	4月上旬／4月中旬(予定)
開講期間・単位	後期開講科目・11単位(5段階評価)
費用	2013年度実績 1,577,361円
奨学金	2013年度実績 400,000円



08 立命館・ワシントン大学「環境と人間」プログラム

プログラムの特徴

ワシントン大学の環境問題を専門とする教員による「環境と人間」の講義を柱とするプログラムです。都市化にもなう環境問題について企業の社会的責任を調べ、また、エコツーリズム・リゾートなど持続可能な社会について具体的に学びます。論理的な考え方や積極性が求められるアメリカの大学の学習スタイルと、フィールドワークやグループプレゼンテーションを通して、英語の表現力や対話力を身につけます。また、専門講義の理解を助ける英語サポート体制が整っており、難易度の高い講義にチャレンジできる力をつけます。その他、午後に英語選択科目があり、多国籍な環境の下で自分のレベルに合ったクラスで英語を学びます。

講義科目

①3週間集中プログラム

- 「太平洋岸アメリカ北西地域の環境学」*
- 「環境研究方法論」*
- 「アメリカの大学における学習の心得とアカデミックイングリッシュ」

②秋学期の講義

- 「環境と人間」*
 - 「持続可能なビジネス、ツーリズムと企業の社会的責任」*
 - 「環境問題の課題研究演習」*
 - 英語選択科目
- *各講義は、立命館大学生用の独自のプログラムで、講義の理解を助けるための英語によるサポートクラスがセットされています。

こんな人にオススメ!

一定の英語力があり、「環境学」に興味がある人。
海外の大学で専門的な学修を行いたい人。

プログラム実施時期	1セメスター (9月~12月の約14週間)
滞在形態	ホームステイと寮
募集人数／応募資格	30名／学部1~4回生(薬学部を除く)(国際関係学部・政策科学部9月入学者:応募時点で1~3回生) / TOEFL ITP®450 (TOEFL iBT®45)点以上、またはそれに相当するスコアを有すること
要項配布／募集時期	4月上旬／4月中旬(予定)
開講期間・単位	後期開講科目・14単位(5段階評価)
費用	2012年度実績 1,165,043円
奨学金	2014年度見込 400,000円



ワシントン大学「平和学」、「環境と人間」プログラムスケジュール(例)

★3週間集中プログラム(1週目~3週目)

AM	PM
●平和学または環境に関する講義 ●英語サポートクラス ●アメリカの大学における学習の心得とアカデミックイングリッシュ	●平和学または環境に関する講義 ●英語サポートクラス ●アメリカの大学における学習の心得とアカデミックイングリッシュ
■ワシントン大学「平和学」プログラム参考ウェブサイト http://depts.washington.edu/uwpcs/	■ワシントン大学「環境と人間」プログラム参考ウェブサイト http://depts.washington.edu/uwhie/

★秋学期(4週目~14週目)

AM	PM
●平和学または環境に関する講義 ●英語サポートクラス	●選択英語

09 立命館・カリフォルニア大学デービス校 「アメリカの言語・文化・社会」プログラム

プログラムの特徴

カリフォルニア大学デービス校エクステンション (UCDE) の提供する Intensive English Program (IEP) を2セッション (計20週間) 受講します。アメリカの文化・社会に関するさまざまなトピックを取り上げながら、英語力の向上を図ります。



こんな人にオススメ!

長期の留学で英語力を大幅に向上させ、将来的に正規開講科目を受講できるレベルにまで引き上げたい人。加えて、アメリカの文化・社会に興味があり、ホームステイを希望する人。



夏期出発

プログラム実施時期	1セメスター (9月下旬～3月下旬の約6ヶ月間)
滞在形態	ホームステイ
募集人数／応募資格	30名 (予定) / 学部1～3回生 (薬学部1～5回生) (国際関係学部・政策科学部9月入学者: 応募時点で1～3回生、ただし3月卒業の可能性のある場合を除く) / TOEFL ITP® 450 (TOEFL iBT® 45) 点以上、またはそれに相当するスコアを有すること
要項配布／募集時期	4月上旬／4月中旬 (予定)
開講期間・単位	後期開講科目: 16単位程度*
費用	2013年度実績 1,418,692円
奨学金	2013年度実績 400,000円

*単位数は、学部によって異なります。

春期出発 (2015年度より開講)

プログラム実施時期	1セメスター (3月下旬～9月上旬の約6ヶ月間)
滞在形態	ホームステイ
募集人数／応募資格	30名 (予定) / 学部1～3回生 (薬学部1～5回生) (国際関係学部・政策科学部9月入学者: 応募時点で1～3回生、ただし3月卒業の可能性のある場合を除く) / TOEFL ITP® 450 (TOEFL iBT® 45) 点以上、またはそれに相当するスコアを有すること
要項配布／募集時期	7月上旬／9月下旬 (予定)
開講期間・単位	前期開講科目: 16単位程度*
費用	2013年度夏期出発実績 1,418,692円
奨学金	2013年度夏期出発実績 400,000円

*単位数は、学部によって異なります。

カリフォルニア大学デービス校 「アメリカの言語・文化・社会」プログラム スケジュール (例)

AM	PM
● Grammar ● Reading ● Writing	● Listening または ● 選択科目



10 立命館・UBCジョイントプログラム

プログラムの特徴

立命館大学とカナダのバンクーバーにあるブリティッシュコロンビア大学 (UBC) が共同で開発した独自のカリキュラムに基づき、学力と語学力の向上とともに、カナダでの生活体験を通して国際人として成長することを目指したプログラムです。2回生を中心に90名前後を派遣し、UBCキャンパスで言語教育科目や環太平洋研究、異文化間コミュニケーション学等、またその他の正規開講科目を受講します。また、「立命館・UBCハウス」をはじめとするキャンパス内の寮でUBC学生と共同の生活を送ります。



こんな人にオススメ!

英語力向上に留まらず、「英語で学び考える力」を養いたい人。
現地学生とともに寮生活を通して、異文化経験を深めたい人。

プログラム実施時期	1学年間 (8月下旬～4月下旬の約8ヶ月間)
滞在形態	大学寮
募集人数／応募資格	90名 (程度) / 学部学生 (情報理工学部を除く) / TOEFL ITP® 450 (iBT® 45) 点以上、またはそれに相当するスコアを有すること
要項配布／募集時期	10月上旬／11月上旬 (予定)
開講期間・単位	翌年度前期開講科目・35単位を上限※
費用	1,700,000円 (程度)
奨学金	2013年度実績 400,000円
その他	UBC 2年目派遣プログラム 優秀な成績を修めた参加者は、最長1年間の留学延長への応募が可能です (募集人数: 若干名)。

*留学の適用期間最終学期にて単位授与・認定を行います。

11 立命館・アルバータ大学 「北米の言語・文化・社会」プログラム

プログラムの特徴

アルバータ大学の提供するVSCP (Visiting Students Certificate Program) にて、北米の文化・社会に関するさまざまなトピックを学びながら英語力の向上を図り、現地の正規開講科目受講を目指します。ESL (English as a Second Language) の講義では、個々の語学レベルに合ったクラス編成が行われます。所定の基準を満たせば、アルバータ大学正規開講科目の受講が可能です。



こんな人にオススメ!

TOEFL ITP® 500点レベルからさらに英語力を向上させ、現地学生とともに正規開講科目 (専門科目) の受講にチャレンジしたい人。加えて、カナダの文化・社会に興味がある人。

プログラム実施時期	1学年間 (8月中旬～4月下旬の約8ヶ月間)
滞在形態	寮
募集人数／応募資格	15名 / 全学部学生 / TOEFL ITP® 500 (iBT® 61) 点以上、またはそれに相当するスコアを有すること、GPA 3.0以上
要項配布／募集時期	10月上旬／11月上旬 (予定)
開講期間・単位	翌年度前期開講科目・16単位を上限に単位授与 (※)、アルバータ大学正規開講科目の受講状況に応じた単位認定
費用	180万～230万円程度 (※現地での履修パターン、正規科目の受講数などによって異なります)
奨学金	2013年度実績 400,000円

*留学の適用期間最終学期にて単位授与・認定を行います。単位数は、学部によって異なります。

派遣先機関・都市の概要

派遣先 アルバータ大学 (カナダ・エドモントン)

1908年に設立された、17学部、約38,000人の学生を擁する州立総合大学。カナダ国内の大学ランキングでは第4位 (THE-QS World University Rankings 2012)。世界約133カ国から約2,500名の学生を受け入れており、国際化にも積極的に取り組んでいます。メインキャンパスはアルバータ州エドモントンのダウンタウン近くに位置しており、非常に美しく広いキャンパスを擁しています。厳しい冬にも耐えられる都市設計となっており、一年中快適に過ごすことができます。

● 留学体験記

経営学部 福西 里奈 さん

留学先 サザンクイーンズランド大学 | オーストラリア・トゥーンバ
参加期間 4週間 参加時2回生

AUSTRALIA

海外スタディ
サザンクイーンズランド大学

1人1人丁寧に指導してくれる講義

講義はエッセイの書き方とプレゼンテーションの練習が中心でした。立命館の学生20人で1クラス、現地教師1人でしたが、親身になって丁寧に教えてくれます。添削されたエッセイと一緒に見ながら、1人ずつ時間をとってアドバイスしてもらえ、プレゼンテーションの度にコメントペーパーで1人1人評価してくれるため、聴き手を惹きつけるような工夫を身につけることができました。また、数名のゲストスピーカーによる講義では、日豪関係や多文化社会での共生、移民・難民支援団体について詳しく知ることができました。

多文化共存を実感したホームステイ

このプログラムの一番の魅力はホームステイです。私のホストファミリーはフィリピンからの移民家族で、フィリピンでの生活や移民のきっかけ、使用言語の使い分けなど、夕食の時にたくさん話を聞きました。印象的だったのは、フィリピンはアメリカ英語で、オーストラリアはイギリス英語だから、私達もあなたと同じように日々学んでいるのよ、と言われたことです。一方で週末はオーストラリアの文化ともいえる公園でのバーベキューに連れて行ってくれて、まさに多文化の共存を実感しながら過ごすことができました。

留学の思い出と自分自身の成長

一番の思い出は、帰国前のfarewell partyの司会を任せられたことです。先生から指名されたときは大役を任せられたようで不安でしたが、ホストファミリーはとても喜んでくれ、何より留学を締めくくる思い出になりました。かけがえのない人達と素敵な思い出ができ、多くの出会いに感謝しています。また、この短期留学は大学生活において自分を成長させる大きなきっかけとなりました。英語力も大事ですが、この多文化社会で生活するには自らコミュニケーションを取ろうとする積極性も大事です。現地で韓国の大学生たちと交流したのをきっかけに、第二外国語として学んでいた韓国語をより向上させようと決意し、帰国後のステップアップとして、その年の夏に学部の韓国語研修にも参加しました。そして現在も継続して授業を受けています。

出発前の準備、現地での生活、帰国後の振り返り…全ての過程が自分を成長させると思います。語学力の向上以外に目的がないという人もいるかもしれません、行ってみるとたくさんの出会いがあり、帰国後のステップアップにつなげられるはずです。留学生生活で感じることは十人十色です。ぜひ自分なりの留学生活を楽しんでください。

AUSTRALIA

立命館・マコーリー大学
「日豪関係」プログラム

国際関係学部 田中 雄基 さん

留学先 マコーリー大学 | オーストラリア・シドニー
参加期間 7週間 参加時1回生

現地の人やバディとの交流

まず現地の人々との交流があったのは、寮生活でした。寮生活が始まつてしばらくの間は、いかにして寮の人たちと打ち解けられるかで、立命館の学生同士で試行錯誤を繰り返しましたが、こちらから話しかければ普通に打ち解けてくれました。それからは一緒に寮のパーティーに参加したり、大学のスポーツジムに行ったりと楽しく2週間の寮生活を過ごしました。また、次の4週間の滞在先であるホストファミリーも温かく迎え入れてくれ、当時がオーストラリア大統領選挙期間だったこともあり、政治の話でもずいぶん盛り上がりいました。

さらに、バディとして私たちをサポートしてくださった、日本語専攻の学生たちとの交流も深いものでした。バディたちとは毎日のように交流があり、一緒にベトナム移民の祭りに行ったり、シドニー中心部の中華街に行ったりと大変充実していました。

そして英語のクラスでの同級生との関わりも新鮮でした。サウジアラビアやブラジル、中国、韓国、ベトナム等から来た学生と互いの言語の違いについて話し、グループでプレゼンテーションの準備ができたことは、この多国

積極性を身につける

この留学を通して感じたことは、交流の輪を広げるには、ためらわずにこちらから話しかければ良いということです。私の場合は、英語のクラスで移民についてのレポートを書く課題が出たときに、ギリシア人移民の方にインタビューをする必要があったのですが、ギリシア人移民は数が少なく、当初は大学構内の通行人に片っ端から大学のギリシア人コミュニティの情報を聞いて回りましたが、なかなか見つからず苦労しました。しかし、たまたま寄ったパンケーキ屋の人には「おいしいか」と聞かれて、答えたついでに「ギリシア人の知り合いはないか」と聞いたところ、自分がそうだと答えたので本当にびっくりしました。結局、その人のギリシア人の知り合いを紹介してもらい、無事インタビューを終えることができ、さらには、インタビューの範囲を超えて宗教の話もするなど、見聞を大きく広げる大変良い機会に出会えました。留学中は積極的に話しかける姿勢があれば、思わぬ機会に出会えるでしょう。

USA

立命館・ワシントン大学
「平和学」プログラム

政策科学部 佐々木 雅紀 さん

留学先 ワシントン大学 | アメリカ・シアトル
参加期間 14週間 参加時2回生

ワシントン大学平和学の授業

授業は大きく2つの期間に分かれます。最初の1ヶ月程度は「ガンジーの非暴力運動」について、後半の2ヶ月程度は「公民権運動」と「現代の紛争」について学びます。クラスは全員立命館の参加者で構成されていますが、授業は全て英語で行われます。課題はリーディングがメインです。リーディングの内容は私たちが普段日本の講義で扱うようなレベルです。専門用語が多く最初は戸惑いましたが、とにかく量をこなし、力を上げていきました。語学クラス (IEP) は1日に1コマしかありませんが、様々な国から来た友達を作る絶好のチャンスでした。



遠い存在が近い問題に

「現代の紛争」では、第二次世界大戦から現代にかけて起きた紛争・虐殺について学びました。今まで、テレビで中東での内戦のようなニュースが報道されても、自分には関係ないと流していました。しかし、授業で深く触れたことをきっかけに、「原因は何か」「なぜ自分にできることはあるか」などの一步踏み込んだ考えを持てるようになりました。さらに、紛争は自分たち日本人にとって遠い国の問題だと考えていましたが、授業をきっかけに中国や韓国との領土問題・歴史問題にも興味を持ち自分なりに考え始め

ました。しかし、自分の知識のなさに愕然とし、今の日本の大学生のそいつた分野への興味の薄さを身を以て感じました。今回の留学をきっかけに、自分の国についてよく考えてみる、という当たり前のことができるようになった気がします。

留学を考えている人へのメッセージ

授業に関して大事なことは、悪循環を阻止するということです。一番良くないのは、宿題をやってこない、授業がわからない、その結果授業についていけないということです。わからないことは積極的に先生に聞きましょう。先生方はとても親切で質問を喜んでくれます。また、このワシントン大学プログラムでは語学サポート専用の先生もいるので、英語で不安がある人も心配はいりません。また、クラスメイトと協力するのもいいと思います。

どの留学プログラムに参加する人にも言えることですが、時間を有効に使うために事前にしっかりと具体的な計画を練ることは本当に大切です。留学先での時間は限られています、その時間をどう有効に使えるかで成果は大きく変わります。この時期までにTOEFL®で〇〇点を取るなど、目標や計画を具体的に決めている人は伸びが違います。事前に熟考しましょう。ただし、やはり楽しむことなしには何事も伸びません。何か楽しみも見つけて頑張ってください！

CANADA

立命館・アルバータ大学
「北米の言語・文化・社会」プログラム

国際関係学部 松谷 萌 さん

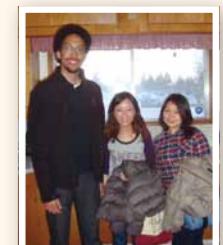
留学先 アルバータ大学 | カナダ・アルバータ
参加期間 8ヶ月 参加時2回生

語学学校と正規の授業

全8ヶ月でVSCP (Visiting Student Certificate Program)に参加し、前半4ヶ月はESL、後半4ヶ月はアルバータ大学の正規開講科目を受講しました。ESLは英語を母国語としない人向けの英語の授業です。私のクラスにはベネズエラ、メキシコ、サウジアラビア、中国、韓国から来た人がおり、様々な年齢の人々と一緒に勉強しました。授業でペアワークをすることが多く、お互いのことを知るきっかけとなりました。ふとした時に文化の違いを発見でき、面白かったです。後半の正規開講科目は社会学を聽講し、人類学を履修して単位取得しました。人類学は人種問題についての講義で、多民族国家であるカナダならではの学生の実体験を聞くことができ、人種問題についての理解が深りました。

学生の街、エドモントン

エドモントンは学生の街であり、留学生にも優しい街です。複数の大学があり、留学生を積極的に受け入れているため、市主催で留学生のためのThanksgiving dayパーティーが行われたり、地元の家庭によるクリスマスパーティーに留学生が招待されることもあります。このようにカナダの文化を体験できる機会が多かったです。アルバータ大学でも各国コミュニティによるイベントや、International weekというイベントがあり、普段の生活から異文化に触れる機会が多かったです。



る機会が多かったです。校内にはリスとウサギが駆け回っている、のどかな雰囲気です。またアルバータ大学の学生はオノオの切り替えがしっかりできる真面目な学生が多いと感じました。

百聞は一見にしかず

あるイベントで出会ったことがきっかけで、カナダ人一家との交流がありました。イベントごとに食事に招かれたり、スケートやそりをしたり、アイスホッケー、ロデオと一緒に見に行ったりしました。カナダについて分からぬことがあれば親切に教えてくれて、めいっぱいカナダの良さを教わりました。本当の家族のように接してくれて、たくさんの『人生初』を彼らと一緒に経験しました。他には日本語を学んでいる学生とも多くの交流がありました。日本語と英語の教え合いもしており、そこで言葉を学ぶだけでなく生活の違いや似ている点を発見することがとても面白かったです。またカナダについてこういうことを知っているけど実際どうなの?といったことも聞きました。これらの交流を通して、知ったつもりでいたことも、現地での生活や交流を通して、思い違いに気づいたり新しい発見があり、実際に見たり聞いたりすることが大切だと感じました。



アドバンスト型プログラム

正規の学部留学、またはそれに匹敵するプログラムで、自分の専攻分野の学修を外国語で行うことを主要な目的としたプログラム

12 立命館・UBC「国際リーダー養成」プログラム



プログラムの特徴

「Global Citizenship」をテーマに、本学が人材目標として掲げる国際社会でリーダーとして活躍できる地球市民の育成を目指したプログラムであり、環境問題や平和構築といったグローバルな課題を考え、この解決の道筋を探る過程で、国際社会において活躍できる資質を獲得することを目的としています。



正規開講科目を受講しつつ、Term 1では「Global Citizenship」の概念について学習し、Term 2では現場体験を通じて、Term 1で学んだ概念を実践を通して学びます。

カリキュラム内容は「Global Citizenship」科目に加え、4分野 (A.カナダ研究／国際関係科目 B.国際的なコンテキストにおける言語科目 C.サステイナビリティに関する科目 D.その他指定する科目) から幅広い分野の科目を受講するなど、1学年を通じて体系的に学習します。

派遣先機関・都市の概要

派遣先 ブリティッシュコロンビア大学 (カナダ・バンクーバー)

ブリティッシュコロンビア大学 (UBC) は、約 47,000 名の学生を擁する世界でも有数の名門校で、タイムズ誌による大学ランキングで世界 22 位と上位にランクしています。また、メインキャンパスのあるバンクーバーは、ブリティッシュコロンビア州の南西部に位置するカナダ西部で最も大きな都市です。エコノミスト誌による調査で、5 年連続で住みやすい都市世界 1 位にランクされるなど、暮らしやすさが評価されています。

こんな人にオススメ!

「Global Citizenship」科目を中心に、グローバルな課題を考え、国際社会で通用する専門力量を深めたい人。

COLUMN

長期留学をするなら、1回生のうちから情報収集を欠かさずに！

留学を目指すときに、一番注意しなくてはいけない点。それはしっかりと 4 年間の計画を立てることです。

1 年～2 年の長期留学を考えるなら、学部の授業スケジュールや取得単位などとバランスをとらなければなりません。また各プログラムの募集時期も異なります。気づいたときには募集が終わっているということも。早めの情報収集が留学成功への近道です。

国際教育センターHPには参加者募集・イベント情報、各種プログラムの概要が掲載されています。過年度の募集要項もダウンロードできます。

→<http://www.ritsumei.ac.jp/international/>

プログラム実施時期	1学年間(8月下旬～4月下旬の約8ヶ月間)
滞在形態	寮
募集人数／応募資格	10名(程度)／全学部学生、TOEFL iBT®90点(Reading·Listening 各22点以上、Writing·Speaking 各21点以上)相当以上、GPA3.5以上
要項配布／募集時期	10月上旬／11月上旬(予定)
開講期間・単位	単位認定対象(P.38参照)
費用	2013年度実績 1,000,000円(程度)
奨学金等	2013年度実績 600,000円

カリキュラムについて

Term 1(9～12月)	Term 2(翌年1～4月)	
①Global Citizenship Part 1 1科目3単位	②Global Citizenship Part 2 1科目3単位	
③言語教育学部開講科目 1科目3単位	③言語教育学部開講科目 1科目3単位	
④選択科目Term 1、Term 2で 計4科目12単位		

①Global Citizenship Part 1

Global Citizenshipの概念について、環境、経済、社会など多様な角度から学習します。

②Global Citizenship Part 2

Term 1で学んだ概念を現場体験を通じて実践的に理解を深めます。

③言語教育学部開講科目

学術的な英語活用能力を高めるための科目を受講します。

④選択科目

Global Citizenshipに関連する90以上のUBC開講科目から、各自の興味関心などにしたがい受講します。受講科目は、[A.カナダ研究/国際関係科目群(30科目)、B.国際的なコンテキストにおける言語に関する科目群(13科目)、C.サステイナビリティに関する科目群(33科目)、D.その他指定する科目(15科目)またはA～C科目群から選択]の4分野から、1科目ずつ選択します。



13 交換留学

プログラムの特徴

交換留学とは、立命館大学と学生交換協定を締結している海外の大学へ留学する制度です。

派遣先大学においては、主に各自の専門分野に応じた正規開講科目を受講しますが、派遣先・各自の能力によっては履修科目の制限や語学科目(ESLなどが提供する科目)の履修を課せられる場合があります。従って、交換留学には高い語学力と基礎学力、自分で物事に対処することのできる精神力と適応力が求められます。

が求められます。

交換留学には全学枠とJWP (Japan and World Perspectives Program) 枠があり、両方を併願することも可能です。JWP枠は基本的に国際インスティテュート所属学生を対象にしていますが、国際インスティテュートに所属していない学生の応募も可能です。ただし、選考の際は国際インスティテュート生が優先されます。

応募にあたっての注意点

応募条件は、応募時点で、志望大学で設定されているGPAや語学基準(TOEFL®スコアやCEFR等)を満たしている必要があります。英語の場合、TOEFL iBT®またはIELTSのスコア提出が求められます。なお、一部大学のみTOEFL iBT®スコアでの応募が可能です。初修外国語の場合、語学基準が「～程度」であれば、該当する語学試験の証明書がなくても相応の語学力を

有していれば応募は可能です。但し、フランスやドイツの大学では近年受入基準が厳格化しており、また、それ以外の派遣国についても基準が変更となる場合があります。事前に国際教育センター窓口で情報収集をし、応募時期に間に合うように必要な試験の受験学習等の計画を立てましょう。

留学期間

夏期出発	1学年間	留学先	留学期間
		アメリカ・カナダ・メキシコ・香港・シンガポール	8月～翌年5月
春期出発	1学年間	メキシコ	秋頃～翌年8月
		ヨーロッパ・マレーシア	8月～翌年7月
1セメスター		中国(香港除く)・台湾	9月～翌年7月

春期出発	1学年間	留学先	留学期間
		オセアニア	2月～12月
1セメスター		韓国	2月～12月
		フィリピン	4月～翌年3月
1セメスター		アルゼンチン	2月～12月
		韓国	2月～6月
		中国	2月～7月

*実際の留学派遣期間と、本学における学籍上の「留学」期間とは異なります。

*春期出発の中国・韓国を除き、原則1学年間の留学となります、その他の国の一大学について、1セメスター留学の募集を行う場合があります。毎年状況は変わりますので、1セメスター留学が可能な大学については募集要項における募集条件で確認してください。

留学期間中の学修

派遣先大学の正規開講科目を履修することが原則です。ただし、派遣先大学の判断により、語学コースを履修しなければならない場合や、正規開講科目の受講が制限される場合があります。

募集要項配布／募集時期

春期出発	5月中旬／6月上旬
夏期出発	10月上旬／11月上旬

詳細は国際教育センターで配布される募集要項を参照してください。夏期出発の場合、2014年度に募集を行うものは、2015年度出発のプログラムです。なお、募集定員に満たなかった場合は、2次募集を実施することがあります。

単位認定

単位認定対象(P.38参照)

奨学金

立命館大学では、交換留学生に対して、給付奨学生を支給しています。また、独立行政法人 日本学生支援機構 (JASSO) が募集する奨学生制度へも推薦を行っています(併給はできません)。

1.立命館大学海外留学プログラム参加奨学生

◎対象:学生交換協定にもとづく派遣留学生(大学院生も対象となります)
◎条件:①60万円(1学年間留学する場合)
②30万円(1学期間留学する場合)

2.独立行政法人 日本学生支援機構 (JASSO)「海外留学交流支援制度(短期派遣)」(未定)

大学間の交換協定により海外の大学へ派遣される学生を支援することに

費用

授業料は交換留学制度により、立命館大学に納入すれば、現地での授業料を納入する必要はありません。ただし、履修科目、登録単位数等によっては有料となる場合があります。その他留学に係る経費は自己負担となります。

月々の生活費は各自の生活スタイル、為替相場、国や都市によって大きく異なりますが、一般的に欧米圏では約8～16万円、中国では約4～5万円、韓国では約8万円、フィリピンでは約3～5万円程度は必要です。留学を計画する段階で、寮費や物価等を各自で調べておく必要があります。

より、留学生交流の一層の拡充を図り、相互理解と友好親善を増進することを目的とする制度

◎対象:学生交換協定に基づく派遣留学生で、日本国籍を有する者

または日本への永住が許可されている者。

◎人数:同法人の指定人数枠による

◎条件:留学期間中、月額8～10万円の奨学生

◎2013年度採用実績:5名

*留学する地域により金額は異なります。

*日本学生支援機構が支給するその他の奨学生との併給はできません。

*奨学生支給団体側が、他の奨学生との併給を認めない場合がありますので、受給資格など詳細については、当該団体に確認してください。

■ 交換留学

北米圏・中南米圏



■ 全学枠 ※派遣先大学、募集人数、応募資格、語学基準等は年度によって変更される可能性があります。詳細は募集時に配布される募集条件で確認してください。

国・地域	出発時期※①	派遣先大学名 (所在地)	12年度出発		13年度出発		出願 言語 (研修言語)	正規開講科目を履修するに必要な最低語学基準※②				応募資格※③④					
			募集 人数	派遣 人数	募集 人数	派遣 人数		英語※⑤⑥	TOEFL iBT®	IELTS	現地語※⑥	英語※⑤⑥	TOEFL iBT®	IELTS	現地語※⑥		
アメリカ	夏	① アメリカン大学 American University (ワシントン DC)	5	3	5	1		80	6.5	-		1回生以上	○	2.8以上	61	6.0	-
	夏	② アパラチアン州立大学 Appalachian State University (ノースカロライナ州フーリー)	-	-	-	-		75 (各16)	5.5	-		2回生以上	×	3.0以上	80	6.5	-
	夏	③ カリフォルニア州立大学 California State University, Long Beach (カリフォルニア州ロングビーチ)	-	-	-	-		72				1回生以上	×	3.2以上	100	7.0	-
	夏	④ デボル大学 DePaul University (イリノイ州シカゴ)	4	2	4	0		80 (各17)	6.5	-		1回生以上	○	3.0以上	61	6.0	-
	夏	⑤ イリノイカレッジ Illinois College (イリノイ州ジャクソンビル)	2	2	2	2		68	×	-		1回生以上	○	3.0以上	80	6.5	-
	夏	⑥ ジェームズマディソン大学 James Madison University (ヴァージニア州ハリソンバーグ)	1	0	1	0		80	6.5	-		1回生以上	○	3.0以上	79	6.5	-
	夏	⑦ ラトガーズ大学 Rutgers - The State University of New Jersey (ニュージャージー州ニューブランズウッド)	4	2	3	3		79	6.5	-		1回生以上	○	3.0以上	71	6.0	-
	夏	⑧ サンディエゴ州立大学 San Diego State University (カリフォルニア州サンディエゴ)	-	-	-	-		80	6.5	-		1回生以上	○	3.0以上	68	5.5	-
	夏	⑨ シモンズカレッジ Simmons College (マサチューセッツ州ボストン)	2	1	2	1		83	6.5	-		1回生以上	○	3.0以上	71	6.0	-
	夏	⑩ ニューヨーク州立大学 State University of New York College at Plattsburgh (ニューヨーク州プラッツバーグ)	-	-	-	-		76				1回生以上	○	3.0以上	61	5.5	-
	夏	⑪ ミネソタ大学 University of Minnesota - Twin Cities (ミネソタ州ツインシティーズ)	-	-	2	2		79	6.5	-		1回生以上	○	3.0以上	80	6.5	-
	夏	⑫ ミシシッピ大学 The University of Mississippi (ミシシッピ州オックスフォード)	1	1	1	1		79	6.0	-		1回生以上	○	3.0以上	61	5.5	-
	夏	⑬ ノースカロライナ大学グリーンズボロ校 University of North Carolina, Greensboro (ノースカロライナ州グリーンズボロ)	2	1	2	2		79	6.0	-		1回生以上	○	3.0以上	61	5.5	-

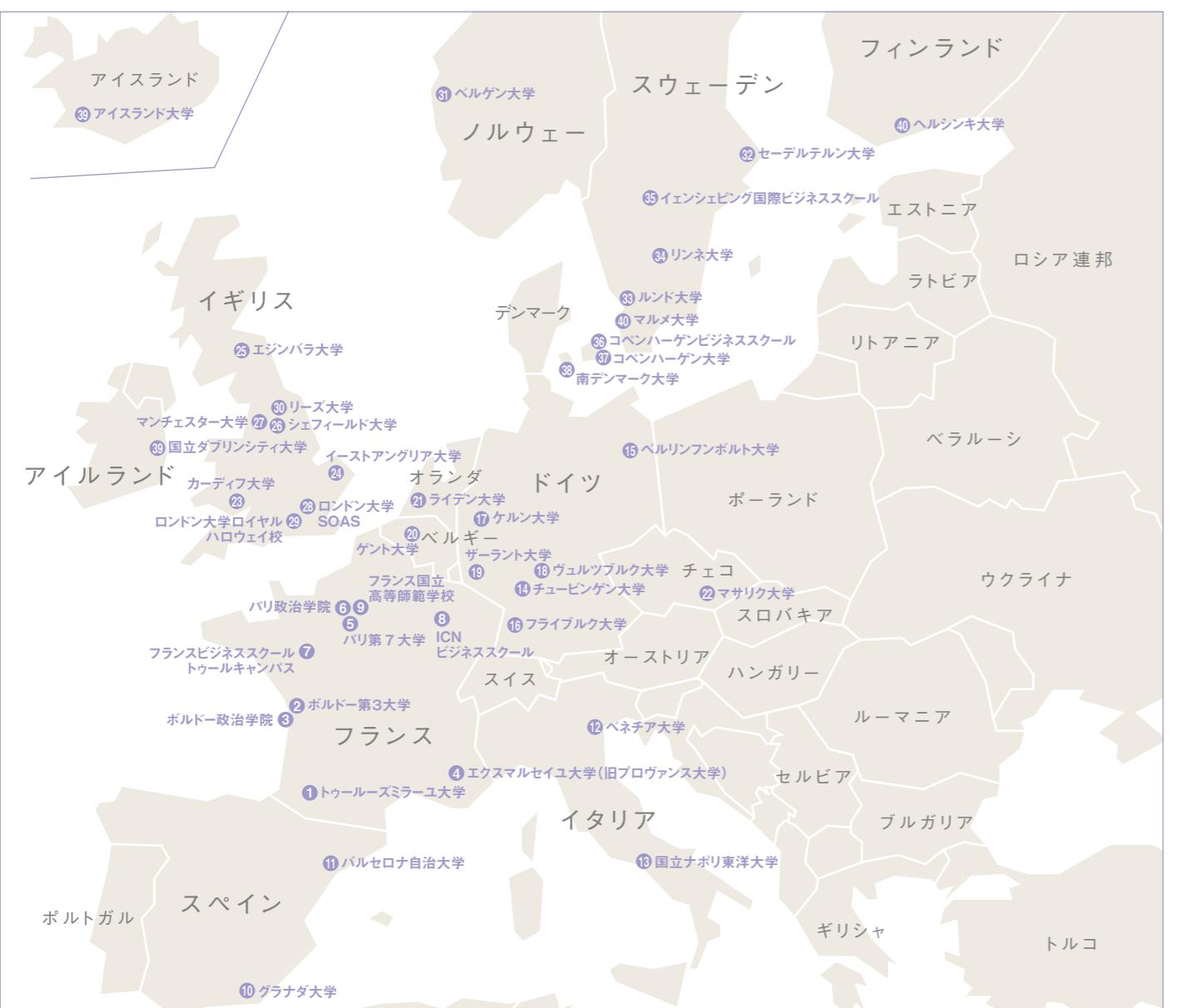
国・地域	出発時期※①	派遣先大学名 (所在地)	12年度出発		13年度出発		出願 言語 (研修言語)	正規開講科目を履修するに必要な最低語学基準※②		応募資格※③④							
			募集 人数	派遣 人数	募集 人数	派遣 人数		英語※⑤⑥	TOEFL iBT®	IELTS	現地語※⑥	英語※⑤⑥	TOEFL iBT®	IELTS	現地語※⑥		
アメリカ	夏	⑭ オクラホマ大学 University of Oklahoma (オクラホマ州ノーマン)	5	1	5	3		61	6.0	-		1回生以上	○	2.8以上	61	6.0	-
	夏	⑮ ピッツバーグ大学 University of Pittsburgh (ペンシルベニア州ピッツバーグ)	3	0	2	2		80	6.5	-		2回生以上	×	3.0以上	80	6.5	-
	夏	⑯ ヴァッサー・カレッジ Vassar College (ニューヨーク州ボーキースビー)	1	0	2	0		100	7.0	-		2回生以上	×	3.2以上	100	7.0	-
カナダ	夏	⑰ サイモン・フレーザー大学 Simon Fraser University (ブリティッシュコロンビア州バーナビー)	3	0	5	1		88 (各20)	6.5	-		1回生以上	○	2.8以上	88 (各20)	6.5 (各6.0)	-
	夏	⑱ ブリティッシュ・コロンビア大学 University of British Columbia (ブリティッシュコロンビア州バンクーバー)	2	0	2	0		90 (R22L22, W21,S21)				1回生以上	○	2.8以上	90 (R22L22, W21,S21)	6.5 (各6.0)	-
	夏	⑲ ピクトリア大学 University of Victoria (ガーヴィソン・スクール・オブ・ビジネス)	1	0	2	1		90				1回生以上	×	3.0以上	79	6.5	-
メキシコ	夏	⑳ モンテレイ工科大学 Technologico de Monterrey (グアダラハラ)	2	2	2	2	スペイン語 英語	80	6.5	-		2回生以上	○	3.0以上	80	6.5	スペイン語検定 4級程度
	夏	㉑ メキシコ大学院大学 El Colegio de Mexico (メキシコシティ)	1	0	2	0	スペイン語	-	-	-		1回生以上	○	2.8以上	-	-	スペイン語による研究を理解し、スペイン語で意思疇合が十分にできる
	春	㉒ ラプラタ大学 Universidad Nacional de La Plata (ラプラタ)	2	2	2	2						1回生以上	○	2.8以上	79	6.0	スペイン語検定 4級程度

■ JWP枠 (大学院生応募不可) ※派遣先大学、募集人数、応募資格、語学基準等は年度によって変更される可能性がありますので、募集要項で確認してください。

国・地域 (JWP枠)	夏	㉓ バトラー大学 Butler University (インディアナ州インディアナポリス)	-	-	-	-		79	x	-		x	3.0以上	71	x	-	
			英語	TOEFL iBT®	IELTS	現地語											
	夏	㉔ フロリダ国際大学 Florida International University (フロリダ州マイアミ)	5	5	5	5		63	5.5	-					63	5.5	-
	夏	㉕ ジョージアカレッジ州立大学 Georgia College and State University (ジョージア州ミシシッピ)	2	2	2	1		79	6.5	-					61	6.0	-
	夏	㉖ イリノイカレッジ Illinois College (イリノイ州ジャクソンビル)	2	2	2	1		68	×	-					68	5.5	-
	夏	㉗ オハイオノーラン大学 Ohio Northern University (オハイオ州アダ)	2	2	2	2		79	6.0 (各5.5)	-					61	5.5 (各5.0)	-
	夏	㉘ オクラホマシティ大学 Oklahoma City University (オクラホマ州オクラホマシティ)	-	-	1	0		80	6.0	-					80	6.0	-
	夏	㉙ サフォーク大学 Suffolk University (マサチューセッツ州ボストン)	1	1	1	1		77							77		-
	夏	㉚ テネシー工科大学 Tennessee Tech University (テネシー州クックビル)	2	2	2	3	英語	61 or ITP 500	5.5	-		1回生以上	×	3.0以上	61	5.5	-
	夏	㉛ アラバマ大学 The University of Alabama (アラバマ州タスカルーサ)	1														

■ 交換留学

ヨーロッパ圏



■ 全学枠 ※派遣先大学、募集人数、応募資格、語学基準等は年度によって変更される可能性があります。詳細は募集時に配布される募集条件で確認してください。

国・地域	出発時期※①	派遣先大学名(所在地)	12年度出発				13年度出発				正規開講科目を履修するのに必要な最低語学基準※③				応募資格※②③④						
			募集人数	派遣人数	募集人数	派遣人数	出願言語(研修言語)	英語※⑤⑥	TOEFL iBT®	IELTS	現地語※⑥	英語※⑤⑥	TOEFL iBT®	IELTS	現地語※⑥	英語※⑤⑥	TOEFL iBT®	IELTS			
フランス	夏	① トゥールーズミラユ大学 Université de Toulouse-Le Mirail (トゥールーズ)	2	2	2	0	-	-	○	3.0以上	-	フランス語検定3級程度	-	-	1回生以上	○	3.0以上	91	6.5		
	夏	② ボルドー第3大学 Université Michel de Montaigne Bordeaux 3(ボルドー)	3	3	3	2	-	-	○	2.8以上	-	CEFR level B2	-	-	1回生以上	○	2.8以上	72	6.0		
	夏	③ ボルドー政治学院 Institut d'Etudes Politiques de Bordeaux(ボルドー)	2	2	2	2	フランス語	-	○	-	-	CEFR level B2	-	-	1回生以上	○	2.8以上	72	6.0		
	夏	④ エクスマルセイユ大学(旧プロヴァンス大学) Université d'Aix-Marseille (エクス・アン・プロヴァンス)	2	2	1	1	フランス語	-	○	3.0以上	-	TCF or DELF level B1	2回生以上	-	1回生以上	○	2.8以上	69	5.5		
	夏	⑤ パリ第7大学 Université Paris Diderot Paris 7 (パリ)	2	2	2	1	フランス語	-	○	-	-	TCF Level3, DELF B2, TCF level 4, or DALF C1	1回生以上	-	1回生以上	○	3.0以上	91	6.5		
	夏	⑥ パリ政治学院 Sciences Po Paris (パリ)	3	2	3	3	フランス語	英語	80	6.0	-	CEFR level B2	2回生以上	80	6.0	-	1回生以上	○	3.0以上	91	6.5
	夏	⑦ フランスビジネススクール トゥールーキャンパス France Business School Campus de Tours(トゥール)	2	2	1	0	フランス語	-	○	-	-	CEFR level B2	1回生以上	-	1回生以上	○	2.8以上	69	5.5		
	夏	⑧ ICHビジネススクール ICH Business School (ナンシー)	3	0	3	0	フランス語	英語	80	6.0	-	CEFR level B2	3.0以上	80	6.0	-	1回生以上	○	3.0以上	61	5.5
	夏	⑨ フランス国立高等師範学校 École Normale Supérieure (パリ)	1	0	1	0	フランス語	-	○	2.8以上	-	CEFR level B2	1回生以上	-	1回生以上	○	3.0以上	61	5.5		
	夏	⑩ グラナダ大学 Universidad de Granada (グラナダ)	2	2	1	1	スペイン語	-	○	3.0以上	-	CEFR B1	1回生以上	-	1回生以上	○	3.0以上	79	6.0		
スペイン	夏	⑪ バルセロナ自治大学 Universitat Autònoma de Barcelona (バルセロナ)	1	1	1	1	スペイン語	カタルニア語	-	-	-	スペイン語検定4級程度	-	-	-	-	-	-	-	-	

国・地域	出発時期※①	派遣先大学名(所在地)	12年度出発				13年度出発				出願言語(研修言語)				正規開講科目を履修するのに必要な最低語学基準※③				応募資格※②③④			
			募集人数	派遣人数	募集人数	派遣人数	英語※⑤⑥	TOEFL iBT®	IELTS	現地語※⑥	英語※⑤⑥	TOEFL iBT®	IELTS	現地語※⑥	英語※⑤⑥	TOEFL iBT®	IELTS	現地語※⑥	英語※⑤⑥	TOEFL iBT®	IELTS	現地語※⑥
イタリア	夏	⑫ ベネチア大学 Ca' Foscari University of Venice (ベネチア)	1	1	1	1	イタリア語	英語	-	-	イタリア語	理解し、試験等にも対応できる能力	-	-	1回生以上	○	3.0以上	69	5.5	イタリア語検定3級程度	-	-
	夏	⑬ 国立ナポリ東洋大学 Università di Napoli L'Orientale (ナポリ)	2	0	2	1	イタリア語	-	-	-	-	-	-	-	2回生以上	○	-	-	-	-	-	-
	夏	⑭ チュービンゲン大学 Eberhard-Karls-Universität Tübingen (チュービンゲン)	2	2	2	2	ドイツ語	-	-	-	-	-	-	-	1回生以上	○	2.8以上	-	-	CEFR A2	-	-
	夏	⑮ ベルリンフンボルト大学※⑨ Humboldt-Universität zu Berlin (ベルリン)	2	2	2	2	ドイツ語	英語	90	6.0	CEFR B2 or C-test 51点以上	-	-	-	1回生以上	○	3.0以上	90	6.0	C-testで最低35点以上 ※テスト結果のコピーを応募時に提出すること	-	-
	夏	⑯ フライブルク大学※⑧ Albert-Ludwigs-Universität Freiburg (フライブルク)	2	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1回生以上	○	2.8以上	-	-	CEFR A1	-	-
	夏	⑰ ケルン大学 Universität zu Köln (ケルン)	2	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1回生以上	○	-	-	-	CEFR B2	-	-
	夏	⑱ ヴュルツブルク大学※⑨ Universität Würzburg (ヴュルツブルク)	2	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1回生以上	○	3.0以上	-	-	ドイツ語検定3級程度	-	-
	夏	⑲ ザーラント大学 Universität des Saarlandes (ザールブリュッケン)	2	0	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1回生以上	○	-	-	-	-	-	-
	夏	⑳ ゲント大学 Ghent University (ゲント)	1	0	1	0	英語	79	6.0	-	-	-	-	-	1回生以上	○	2.8以上	79	6.0	-	-	-
	夏	㉑ ライデン大学 Leiden University, Faculty of Arts (ライデン)	1	0	2	0	英語	88	6.5	-	-	-	-	-	1回生以上	○	2.8以上	88	6.5	-	-	-
ベルギー	夏	㉒ チェコ大学 Masaryk University (ブルノ)	-	-	-	-	英語	65	5.5	-	-	-	-	-	1回生以上	○	3.0以上	65	5.5	-	-	-
	夏	㉓ カーディフ大学経営学部 Cardiff University Business School (ウェールズ・カーディフ)	2	0	2	0	英語	90 (L17, R18, S20, W17)	6.5 (各5.5)	-	-	-	-	-	1回生以上	○	3.0以上	90 (L17, R18, S20, W17)	6.5 (各5.5)	-	-	-
	夏	㉔ イーストアングリア大学 University of East Anglia (イースト・アングリア)	-	-	-	-	英語	79 (L17, R18, S20, W17)	6.5 (各5.5)	-	-	-	-	-	1回生以上	○	3.0以上	72 (L17, R18, S20, W17)	6.0 (各5.5)	-	-	-
	夏	㉕ エジンバラ大学 The University of Edinburgh (エジンバラ)	2	0	2	0	英語	92 (各17)	-	-	-	-	-	-	1回生以上	○	3.0以上	92 (各17)	6.5 (各5.5)	-	-	-
	夏	㉖ シェフィールド大学 University of Sheffield (シェフィールド)	2	1	3	1	英語	72 (L17, R18, S20, W17)	5.5 (各5.5)	-	-	-	-	-	1回生以上	○	3.0以上	72 (L17, R18, S20, W17)	5.5 (各5.5)	-	-	-
	夏	㉗ マンチェスター大学 The University of Manchester (マンチェスター)	1	3	1	0	英語	80 (各20)	6.0 (各5.5)	-	-	-	-	-	1回生以上	○	2.8以上	80 (各20)	6.0 (W6.0, R5.5, I5.0)	-	-	-
	夏	㉘ ロンドン大学 SOAS University of London, SOAS (ロンドン)	2	0	2	0	英語	105 (各25)	7.0 (各7.0)	-	-	-	-	-	1回生以上	○	3.0以上	81 (L13, R8, S17, W21)	6.0 (W5.5)	-	-	-
	夏	㉙ ロンドン大学ロイヤルハロウェイ校 University of London, Royal Holloway (ロッガム)	1	1	0	0	英語	88 (L21, R22, S21, W21)	6.5 (各5.5)	-	-	-	-	-	1回生以上	○	3.0以上	80 (L17, R17, S19, W18)	5.5 (各5.0)	-	-	-
	夏	㉚ リーズ大学 University of Leeds (リーズ)	1	1	1	1	英語	87 (L20, R20, S22, W21)														

14 学部共同学位プログラム (DUDP) (3コース)

DUDPとは

立命館大学と派遣先大学、それぞれにおいて定められた要件を満たすことにより、両大学の2つの学士号(卒業資格)を取得します。修了要件、学修内容などは派遣校によって異なります。短期間で2つの学位を取得するため

学業は非常に厳しいですが、その分やりがいと満足感も大きく、卒業後に広く世界で活躍する基盤を作る機会となるでしょう。

※DUDPは、派遣先大学での所属学部および履修状況によっては、留学期間が2年以上になる場合があります。

14-1 アメリカン大学との学部共同学位プログラム (AU-DUDP)

夏期出発

プログラムの特徴

最短4年間で日米2つの学士号(卒業資格)を取得できるというプログラムです。アメリカン大学の5学部(国際関係学部、経営学部、文理学部、公共政策学部、コミュニケーション学部)のうち希望の学部に所属し、最低80単位を取得します。アメリカン大学で取得した80単位のうち、40単位を上限に立命館大学の単位として認定し、立命館大学の卒業に必要な残りの単位を取得することで両大学の卒業要件を満たします。大学での勉強の他に、インターンシップや短期の海外留学プログラムなども豊富で、様々な経験をつむることができます。また世界の政治の中心であるワシントンD.C.には国際機関やマスコミの支局も多く、様々な人脈を築くことが可能です。



こんな人にオススメ!

高度な専門的分野の学問を修め、学位を取得したい人。2年間という長期留学により、学力の他に将来の進路の可能性を広める国際的な経験を積みたい人。

プログラム実施時期	2回生の8月中旬から約2年間
滞在形態	寮・アパートなど(1年目は寮)
募集人数／応募資格	若干名／国際関係学部1回生のみ対象、TOEFL iBT® 72点以上またはIELTS 6.0以上／GPA 3.0以上
要項配布／募集時期	10月上旬／11月上旬(予定)
単位認定	立命館大学では90単位程度、サフォーク大学では最低80単位を取得します。立命館大学で取得した単位のうち46単位をサフォーク大学の単位として、サフォーク大学で取得した単位のうち40単位を立命館大学の単位として相互に認定し、両大学の卒業要件を満たします。
費用	1年間の授業料約36,000ドル／その他寮費・渡航費、保険料、現地での生活費など。立命館大学では、留学中は特別在学料(年額1万円)と諸会費のみ支払い。
奨学金	立命館大学からの奨学金(給付制) ◎240万円(年次80万円×3回の分割支給)

派遣先機関・都市の概要

派遣先 アメリカン大学 (アメリカ・ワシントンD.C.)

アメリカの首都ワシントンD.C.の北西部郊外にある私立の総合教養大学。初代アメリカ大統領ジョージ・ワシントンによって発案された「偉大な大学を首都に設立する」という考えに基づき、1893年に議会の決議によって特許状を与えられた大学です。約6,000人の学部生と約6,000人の院生が所属しており、世界140カ国・地域からの多くの留学生が学んでいます。

FAQ (DUDP)

Q アメリカン大学DUDP、サフォーク大学DUDP、アルバータ大学DUDPの主な違いを教えてください。

A アメリカン大学DUDPに参加できるのは法学部、産業社会学部、国際関係学部、政策科学部、文学部、経済学部、経営学部の所属学生です。

立命館大学での所属学部に関わらず、アメリカン大学では法学部を除くどの学部でも学ぶことができます。

サフォーク大学DUDPに参加できるのは国際関係学部の学生のみです。サフォーク大学では教養学部の公共政策学科国際政治コースに所属します。

アルバータ大学DUDPに参加できるのは文学部(英米文学専攻又は国際コミュニケーション専攻)の学生のみです。アルバータ大学では人文学部に所属します。

また、アルバータ大学DUDPでは、DUDP開始前に現地で4ヶ月間の英語研修を行う「春期出発(プリッジプログラム)コース」と、学部の正規課程(DUDP)から開始する「夏期出発コース」の2コースがあります。

Q DUDPの選考方法は? 応募にあたってどのような勉強や準備をしたらいいですか?

A 第一次書類選考(志望理由および将来計画書・学修計画書・TOEFL®スコアなどの語学能力・学業成績など)を行った後、第二次選考で面接を行い総合的に判断します。学業成績が審査対象となりますので、立命館大学での日頃の学習にしっかり取り組んでください。また、面接では英語力を測ると同時に、留学の目的、留学先での学修計画、進路の予定などについて質問されます。学部正規課程での学位取得に見合う十分な語学力を身につけるとともに、留学先で何を勉強したいのか、その勉強を将来にどう生かしたいかなど明確な目的意識を持って面接に臨んでください。

Q TOEFL®の正式スコアがないのですが、応募は可能ですか?

A アメリカン大学DUDPとアルバータ大学DUDP「春期出発(プリッジプログラム)コース」では、TOEFL ITP®のスコアでの応募が可能です。

アメリカン大学DUDPの場合は、内定後、派遣年度の5~6月にアメリカン大学によって実施される英語審査(リスニング・筆記・面接)に合格することが必要です。

アルバータ大学DUDP「春期出発(プリッジプログラム)コース」にTOEFL ITP®のみで出願した場合、学内選考の合格発表時は「条件付合格」となります。(所定の期限(応募した年の11月上旬頃)までにTOEFL iBT®70点以上、またはIELTS 5.5以上のスコアコピーを提出できない場合、合格は取り消しとなります。)

サフォーク大学DUDP及びアルバータ大学DUDP「夏期出発コース」は、TOEFL ITP®のスコアでは応募できません。TOEFL iBT®、またはIELTSのスコアの提出が必要です。

14-2 サフォーク大学との学部共同学位プログラム (SU-DUDP)

夏期出発

プログラムの特徴

最短4年間で日米2つの学士号(卒業資格)を得ることのできるプログラムで、本学国際関係学部の学生のみが参加可能です。サフォーク大学では教養学部の公共政策学科国際政治コースに所属します。立命館大学ではアメリカン大学に続く2つ目の学部共同学位プログラムとして2009年度より募集を開始しました。



こんな人にオススメ!

日米両方の視点から国際関係学を学び、専門性を高め、学位を取得したい人。2年間という長期留学により、英語力を高めながら将来の可能性を広める国際的な経験を積みたい人。

プログラム実施時期	2回生8月下旬から約2年間
滞在形態	寮・アパートなど(1年目は寮)
募集人数／応募資格	若干名／国際関係学部1回生のみ対象、TOEFL iBT® 72点以上またはIELTS 6.0以上／GPA 3.0以上
要項配布／募集時期	10月上旬／11月上旬(予定)
単位認定	立命館大学では90単位程度、サフォーク大学では最低80単位を取得します。立命館大学で取得した単位のうち46単位をサフォーク大学の単位として、サフォーク大学で取得した単位のうち40単位を立命館大学の単位として相互に認定し、両大学の卒業要件を満たします。
費用	1年間の授業料約36,000ドル／その他寮費・渡航費、保険料、現地での生活費など。立命館大学では、留学中は特別在学料(年額1万円)と諸会費のみ支払い。
奨学金	立命館大学からの奨学金(給付制) ◎240万円(年次80万円×3回の分割支給)

派遣先機関・都市の概要

派遣先 サフォーク大学 (アメリカ・ボストン)

サフォーク大学はアメリカのマサチューセッツ州ボストン市中心部に位置し、およそ8,000人の学生を擁する中規模私立大学です。96を超える国・地域から約1,000人の留学生が在籍し、スペインのマドリッド、セネガルのダカールに海外キャンパスを持つ国際色豊かな大学です。ボストン地区には80校以上の大学があり、25万人以上の学生が学んでいます。全米学生憧れの町、ボストンには世界中から多くの学生が集まって来ます。リバーランド国際色豊かなボストンは留学生にとっても最適な環境です。

14-3 アルバータ大学との学部共同学位プログラム (UA-DUDP)

春期出発 & 夏期出発

プログラムの特徴

最短4年間で日加両大学の学士号(卒業資格)を取得できるプログラムで、本学文学部(英米文学専攻または国際コミュニケーション専攻)の学生のみが参加可能です。アルバータ大学ではFaculty of Arts(人文学部)に所属します。立命館大学ではアメリカン大学、サフォーク大学に続く3つ目の学部共同学位プログラムです。



派遣先機関・都市の概要

派遣先 アルバータ大学 (カナダ・エドモントン)

1908年に設立された、17学部、約38,000人の学生を擁する州立総合大学。カナダ国内の大学ランキングでは第4位(THE-QS World University Rankings 2012)。世界約133カ国から約2,500名の学生を受け入れており、国際化にも積極的に取り組んでいます。メインキャンパスはアルバータ州エドモントンのダウンタウン近くに位置しており、非常に美しく広いキャンパスを擁しています。厳冬期には日中でもマイナス30度という冷え込みになることもありますが、厳しい冬にも耐えられる都市設計となっており、一年中快適に過ごすことができます。

こんな人にオススメ!

本学の文学部と親和性の高い科目に加え、本学にない多彩な科目的受講を通じて、現地学生と一緒に専門分野の学びを深め、学位を取得したい人。2年間という長期留学により、英語力を高めながら将来の可能性を広める国際的な経験を積みたい人。

プログラム実施時期	2回生4月下旬から約2年間
春期出発コース	若干名／文学部1回生(英米文学専攻または国際コミュニケーション専攻)のみ対象、TOEFL ITP® 520点以上、TOEFL iBT® 70点以上またはIELTS 5.5以上／GPA 3.0以上
要項配布／募集時期	8月上旬／9月下旬(予定)

プログラム実施時期	2回生8月下旬から約2年間
夏期出発コース	若干名／文学部1回生(英米文学専攻または国際コミュニケーション専攻)のみ対象、TOEFL iBT® 86点(各項目21点)以上またはIELTS 6.5(各項目5.0)以上／GPA 3.0以上
要項配布／募集時期	10月上旬／11月上旬(予定)

滞在形態	寮
単位認定	立命館大学では90単位程度、アルバータ大学では最低78単位を取得します。立命館大学で取得した42単位がアルバータ大学の単位として、留学中に取得され、両大学の卒業要件を満たします。
費用	1年間の授業料およそ26,000カナダドル／その他寮費・渡航費、保険料、現地での生活費など。立命館大学では、留学中は特別在学料(年額1万円)と諸会費のみ支払い。
奨学金	立命館大学からの奨学金制度(給付制) ◎240万円(年次80万円×3回の分割支給)

*1) プリッジプログラムコースは、現地での英語研修(4ヶ月)を終えてからDUDPに参加となります。プリッジプログラムの費用として、別途4,000カナダドル(約40万円)が必要です。
*2) TOEFL ITP®のみで出願した場合、学内選考の合格発表時は「条件付合格」となります。所定の期限(11月上旬頃)までにTOEFL iBT® 70点以上、またはIELTS 5.5以上のスコアコピーを提出できない場合、合格は取り消しとなります。

● 留学体験記

USA

交換留学(夏出発)

文学部 芦谷 真衣さん

留学先 テネシー工科大学 | アメリカ・テネシー州
参加期間 10ヶ月 参加時2回生

アメリカのテネシー工科大学を選んだ理由

私がテネシー工科大学を選んだポイントは2つあります。1つ目は、日本人が少ないことです。日本人が少ない土地に行くことで、現地の学生や留学生に私を通して日本を知つてもらう機会が増えると考えました。また、自分の身をできるだけ厳しい環境に置くことで、人間的により成長すると考えました。2つ目は、教育学を専門的に学べる環境にあったということです。テネシー工科大学は教育学に力を入れており、プログラムがとても充実しています。また、幼稚園や特別支援教育のボランティア活動が盛んで、教育に関する知識と経験のどちらも得ることができます。

現地大学生と学ぶ

日本の授業と比べ授業数が少なく、一日に1~2つの授業しかありませんでした。1つの授業に対し、週に2コマが標準で、より専門的な内容を学ぶことができます。少人数制で、ディスカッション形式が多いです。私はSpecial Education, Child Development, Speech, Intercultural Communicationなど、なるべく少人数で、ディスカッションが中心のプレゼンテーションや課題がたくさんあるクラスを中心に受講しました。留学生が少ない大学なので、授業に私以外の日本人はおろか留学生は一人もいませんでした。アメリカでは一般的に講義中に少しでも疑問に思ったことがあれば発言するという習慣があり、学生全員が講義に積極的に参加

することが求められます。私は現地学生に一人だけ混ざり、積極的に授業に参加する努力をしました。

くじけない気持ちと行動力を身につける

留学を通じ、どんな状況でも「まあ、なんとかなるか」と前向きに考えるタフさ、なんとかなるまで「とことんやる」強さが身につきました。留学中の勉強は簡単なものではありません。現地学生の倍の時間を費やして勉強することが求められます。勉強をしても必ずしもいい成績が取れるとも限りません。留学生、日本人だからできない、という理由でつらい経験をすることもありました。その状況から逃げ出さず、自分なりにチャレンジしていくことが大切だと思います。

帰国後、留学をしたい後輩の不安を少しでも和らげたいとの思いから、「まいる」というGGP(グローバル・ゲートウェイプログラム)履修生が立ち上げた学生自主活動団体に所属し、後輩の支援をしています。頑張っている後輩の姿から学ぶことがたくさんあり、私自身の成長にもつながっています。

留学をすれば、必ず何かを得られるでしょう。自分は本当に留学したいのか、何を学び経験したいか…家族や友達としっかり話し合って、自分の軸をもって留学してほしいです。悩んだときはぜひ留学経験者の先輩に相談してみてください。心から応援しています。

経済学部 金 亮佑さん
留学先 延世大学 | 韓国・ソウル
参加期間 1学年間 参加時2回生

KOREA

交換留学(春出発)

あらゆる分野を学ぶ

留学生として、午後に派遣大学が開講している語学学校に通いながら、午前中は現地の学生が受講する講義にも参加し、専門科目(経済学)から一般教養まで、あらゆる分野を学びました。韓国の講義はディスカッション形式が多く、また議論を円滑に進めるために、次回の講義の内容をしっかり予習する必要があり、寝る間も惜しんで準備する日々が続きました。

トリリンガルになれる環境

私が1年間住んでいた国際寮は、大学のキャンパス内にあり、教室には5~10分で着くので非常に便利で、何より様々な国の人たちと一緒に寮で住むことがすごく魅力的でした。ほとんどの寮生が英語を母語としているため、寮内の公用語は英語が使われており、まるで欧米圏に留学しているようでした。寮生と接する中で、自然と英語も学べたので、韓国語と英語両方を習得したい方には、最適な環境です。

逆境を乗り越える力

1年間の交換留学を通じて、語学力はもちろん、個が認められない逆境の中、自分の存在を高めることができました。実際に現地の学生が受講する講義に参加しまし

たが、当初は、慣れない講義について行けず、またグループワークでも全く相手にされない日々が続き、悔しい経験をしました。しかし、認めてもらうためにはまず行動し、互いに助け合う関係を作るべきだと思い、必要な資料を日本の観点から分析して発表したり、「自分だけにできる個性」を出してきました。すると、グループ課題の一部を任されるようになったり、少しずつ信頼を築き上げる実感が持て、単位も取得することができました。協調性、チャレンジ精神、相手のニーズに素早く対応することがいかに大切かを実感すると共に、何かに挑戦し、たとえ困難な状況になっても価値を見出すことができる自信にも繋がりました。

行きたい気持ちを抑えつけていないか?

正直、私は留学することを躊躇していました。留学することは、今までとは違う環境に一人で飛び込むわけであり、不安が募るのは当然です。しかし、自分の可能性を諦め、留学したい思いを無理にうやむやにしてはいないでしょうか…?私は「今だからこそできる」ことを、みなさんにもう一度じっくり考えてもらいたいです。少しでも自分の可能性を信じて、飛び出す希望があるのならば、自分の足で「その一歩」を踏み出してください!



国際関係学部 吉村 茜衣さん

留学先 ブリティッシュコロンビア大学(UBC) | カナダ・バンクーバー
参加期間 8ヶ月 参加時2回生

整った環境のバンクーバー

UBCで驚いたことの一つが、学生の学習に対する姿勢の切り替え方です。月曜日から金曜日までは授業、その合間は図書館やカフェで勉強している学生が多く見ます。金曜日の夜はそれぞれに遊びに出かけ、土日はアクティブに山登りなどを行います。UBCのあるバンクーバーは便利な都市で、ながらも、海と山が近く課外活動もしやすかったです。学内、街中でもゆったりとした雰囲気があり、雨季(10月頃から3月頃)の間、稀にくる晴れの日にはジョギングをしたり、芝生に寝転がる人も見ることができます。大学の裏には海や自然公園もあり、ストレスの対処法がいくつもある環境が整っていると感じました。カナダにいる間、アルバイトも遠距離通学の必要もなかったため、ゆっくりと過ごすことができました。



Global Citizenship Programに参加して

Global Citizenship Program (GCP) では一学期に二つ、正規開講科目を受講します。前期に社会学の分野で Canadian Social Structureを受講し、カナダの抱える社会問題について学びました。先住民の領土問題、タールサンド開発や、遺伝子組み換

CANADA

立命館・UBC
「国際リーダー養成」プログラム

え食物の問題などについて学ぶことができました。キャンパスで過ごすだけでは気付かなかった諸問題に気付きました。さらに、授業内では学生同士のディスカッションが多く行われ、カナダに住む学生の意見を聞くことができました。社会における個人の無関心さや自身を無力だと感じことへの危機感はカナダに留まらず、日本にも関連のある課題だと思います。そこから、他の諸課題と日本との関連も知ることができました。日本と周辺国との領土問題、アイデンティティの問題、タールサンドのアジアへの輸出など、日本の外でどのような問題が存在し、現地の人々はどのように対処しているか、それをどのように日本に応用できるかなどを考えることが非常に勉強になりました。

後輩へメッセージ

新しいプログラムではありますが、関係する教授陣をはじめ、UBC、立命館のスタッフの方々が長く話し合って出来たプログラムです。私はUBCでは、現地の人々と交流できる機会が多かったと思います。「世界」には様々な地域や国がありますが、それはどのように関わっているのかを学び、肌で感じるきっかけとなりました。私の認識していた社会の諸課題は、国境を越えて関わり合っていると学びました。みなさんが学びたいと思うことを学ぶ機会を、どうぞ掴んでください。留学に行く、という経験を求めるだけではなく、自分は特化して何を学びたいかを考え、それを学ぶことができるプログラムを、資料や経験談をもとに探していくだけだと思います。



経営学部 田内 健さん

留学先 アメリカン大学 | アメリカ・ワシントンDC
参加期間 2年半 参加時1回生

USA

学部共同学位プログラム(DUDP)

アメリカン大学で2年間学ぶ

DUDPは最短4年間で立命館大学とアメリカン大学の両方の大学の学位取得を目指すもので、両大学において2年間で取得した単位を相互交換することで実現可能な魅力的なプログラムです。私は立命館で1回生の前期の授業を受講した後、後期からはアメリカン大学に在籍しました。私は必要取得単位数が他学部よりも多いビジネス専攻であったため、2年半をアメリカン大学で過ごしました。授業は、基本的に少人数で行われます。授業中にグループワークやディスカッションなどで発言することを要求される環境があります。また大学院レベルの講義も受講することができるため、より実践的なグループワークを行う機会も多々ありました。私が学業以外に取り組んだことで刺激的だったのは、The National Cherry Blossom Festivalの親善大使を務めたことです。親善大使として当時訪米していたAKB48の通訳を任せられたことは良い思い出です。また2年間ジムに通い続けたおかげで、ジム友達との仲も深まりました。

日本では考えられない体験ができるワシントンD.C.

アメリカン大学はワシントンD.C.のNorth Westというかなり治安が良い地域にあります。少し行けばジョージタウンやホワイトハウス等もあります。大統領もよくリムジンで学校の周りを通り、大統領夫人は娘を連れてアメリカン大学のブルーレッスンに来

ることもあります。その様な日本では考えられない事がD.C.であるが故によくあります。学校の雰囲気は、テスト期間中は静まりかえっていますが、そうでないときは基本的に賑やかです。そして多国籍大学なのでいろいろな国の人と出会えるところも良い点です。雪を見たことのないエジプトからの友達が真冬にサンダルで雪遊びをしているのを見て、驚いたこともあります。

自分の可能性を再発見

留学を通して、語学力の成長はもちろんですが、それ以上に自分が世界でも通用するということ、自分は自分が思うよりも出来る人間であるという事に気付く場面がたくさんありました。そして自らどんなことにも恐れずにチャレンジしていくことが重要であることを痛感しました。それからは、出来るか出来ないかを考えるのではなく、やるかやらないかという基準で動けるようになり、このマインドセットは将来にも役立てていきたいと思います。

後輩へのメッセージ

DUDPは正直辛い事や、金銭面でも負担が多いと思います。ただ、今振り返ってみると、アメリカン大学で経験した全てが自分の将来の糧になると胸を張って言えます。そしてなによりも楽しすぎて、帰国したくなることは間違いないと思います。人生で大きいことに挑戦する第一歩として、是非DUDPに参加してみてください。そして他の学生ができないような経験をしてみてください。



03 外国語の学習について

留学にあたっては、語学要件が課されるなど一定の語学力が必要になるケースがほとんどです。例えば交換留学の場合、英語圏については出願時にほとんどの大学でTOEFL®(正規スコア)やIELTSのスコアが必要になります。また、初修外国語圏であれば、その国の言語をできるだけ学習しておくことが重要になります。計画的な外国語学習に努めましょう。

TOEFL®について

TOEFL®(Test of English as a Foreign Language)は、おもに英語圏の大学・大学院が、英語を母語としない学生の入学要件として課している英語のテストです。そのスコアは、立命館大学が実施している長期の留学プログラムはもちろん、短期プログラムの選考などにおいても利用されます。

TOEFL iBT®(Internet-Based TEST)

公的なTOEFL®スコアとは、このiBTで取得したスコアを指します。年間、30~40回、おもに土曜日と日曜日に試験が行われており、会場はおもに大学などの教育機関のコンピュータ教室になります(なお、立命館大学は試験会場になっていません)。

受験申込みもインターネット(下記HP)経由で行います。

問合せ先 **国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部
TOEFL®事業部**
<http://www.cieej.or.jp/toefl/>

IELTSについて

IELTS(International English Language Testing System)とは、おもにイギリス、オセアニア、カナダなどの高等教育機関への留学の際にスコア提出を求められる英語力判定テストです。ヨーロッパ(イギリス以外)、アメリカでもTOEFL®に代わりIELTSを採用する教育機関が増えています。派遣先大学によって、交換留学の選考においても利用されることがあります。

IELTSには、アカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニングモジュールの2種類の試験があり、IELTSでの応募の際には、アカデミック・モジュールでのスコアが必要となります。テストはリスニング、リーディング、ラ

TOEIC®について

TOEIC®(Test of English for International Communication)とは、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。世界約60ヵ国で実施されており、合否ではなく10点から990点までのスコアで評価されます。公的なTOEIC®スコアを取得するためのテストは、一般的に「公開テスト」と呼ばれており、年に8回程度実施されています。

問合せ先 **TOEIC®公式HP
財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会(IIBC)**
<http://www.toeic.or.jp/>

初修外国語検定試験

初修外国語の語学力を測るものとして、様々な検定試験があります。交換留学の応募には各検定試験3級程度の語学力が最低限必要であり、派遣先大学によっては、より高い語学水準が求められます。応募時には、募集要項の募集条件(応募資格)に「程度」と記載がある場合を除き、語学要件を満たす検定スコア等の提出が必須となります。派遣大学

※ドイツ語 Goethe-Zertifikat、フランス語 DELF、中国語 HSK、スペイン語 DELE 等

TOEFL ITP®(Institutional Testing Program)

TOEFL®の団体受験プログラムであるITPは、過去のペーパー版TOEFL®テスト(TOEFL® PBT)で出題されたものを再利用しています。スコアは公的なものではありませんが、TOEFL iBT®スコアと高い相関関係があります。留学を意識している人は、まず、このITPを受験してみましょう。ITPは立命館大学で受験することができ、4月の英語クラス分けテストをはじめ、年に数回実施されています。具体的な日程については、CAMPUS WEBや下記HPなどで確認してください。

問合せ先 **立命館大学言語教育センター**
<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/cla/lec/>

イティング、スピーキングの4つのセクションで構成されています。テスト結果は各セクションごとに1から9までのバンドスコアで評価される他に、総合的にオーバーオール・バンド・スコアが評価されます。

日本におけるIELTS試験は(財)日本英語検定協会とブリティッシュ・カウンシルが共同で運営しています。受験に関しての詳細は下記HPで確認してください。

問合せ先 **(財)日本英語検定協会(STEP)公式HP**
<http://www.eiken.or.jp/ielts/>

TOEIC® IP (Institutional Program)

TOEIC®の団体受験プログラムであり、「公開テスト」の過去問題が使用されますが、「公開テスト」と同様の社会的通用性があります。近年の就職活動において「エントリーシート」にTOEIC®の得点を記入する機会も増えています。立命館大学においても年に数回実施していますので、具体的な日程については、CAMPUS WEBや下記HPなどで確認してください。

問合せ先 **立命館大学言語教育センター**
<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/cla/lec/>

が求める語学力は国際基準の検定(※)がベースとなります。同レベルの国内検定があれば応募は可能ですが、初修外国語圏への交換留学を考えている場合には国際基準の検定を受験することも検討し、語学力向上に努めましょう。試験の実施回数は限られているため、事前に必要な情報を入手して準備をしてください。

TOEFL ITP®・TOEIC® IP・初修外国語検定試験補助制度

立命館大学では、学生の自主的・積極的な外国語学習を支援するため、TOEFL ITP®、TOEIC® IP、初修外国語検定試験の受験を奨励しており、受験料を補助する制度を設けています。海外留学をめざす場合はもちろん、進路・就職活動にも有用なものですので、積極的に受験しましょう。

1.制度の目的

◆学習目標の設定ができる!

高いスコアを目指して外国語学習に取り組むことは、学習の到達目標の設定となり、自分で学習成果の確認ができるので、励みになります。

◆外国語の力を試すことができる!

現在の自分の外国語の運用レベルを知ることができます。

◆立命館大学の留学プログラムに応募できる!

TOEFL ITP®で出願可能なプログラムもあります。ただし、交換留学、UBC、SU-DUDPなど一部のプログラムへの申し込みには、TOEFL®の正規スコア(iBT)が必要です。

2.受験料補助と申込方法について(予定)

◆TOEFL ITP®およびTOEIC® IP

立命館大学の学部学生には、全額補助や半額補助による受験機会があります。本年度の具体的な日程や補助制度については、言語教育センター(衣笠・BKC)・CAMPUS WEBなどで確認してください。

◆初修外国語検定試験

以下の初修外国語検定試験の受験申込受付は、衣笠・生協ショップ(至徳館地階)、BKC・リンクショップ(リンクスクエア1階)で行います。

立命館大学の学部学生には、大学が受験料の1/2を補助しています。わからない事があれば、言語教育センター(衣笠・BKC)で確認してください。

●補助対象となっている試験

ドイツ語技能検定	HSK*	実用フランス語技能検定
ハングル能力検定	中国語検定	スペイン語技能検定

*立命館孔子学院WEBサイトから申し込みができます。

講義以外での語学学習

■言語習得センター(CLA)

言語習得センター(Center for Language Acquisition)では、大変安価な受講料で、多彩な外国語講座やプログラムを提供しています。開講講座の内容や開講時期などの詳細については、「CLA講座総合案内」(パンフレット)、募集ガイド、募集要項などで確認してください。CLA講座に関する質問は各キャンパスの「言語習得センター」までお問い合わせください。

◆CLAの語学講座

TOEFL®、TOEIC®講座は前期セメスター、夏期集中、後期セメスター、春期集中の4セッションの全てで開講しており、みなさんの留学や就職活動などの時期に合わせて受講することができます。初修外国語検定対策講座は各言語の検定合格を目指して検定日程に合わせたスケジュールで開講します。

◆英語

TOEFL®講座	TOEFL iBT®対策講座	TOEIC®講座
TOEIC®模試直前対策講座	BKC英会話講座A	BKC英会話講座B
Tutorial English Class	ビジネス英語講座	

◆初修外国語

ドイツ語検定 (3級~2級)対策講座	フランス語検定 (2級、準2級)対策講座	ブレ異文化理解セミナー (フランス語、スペイン語)講座
ポスト異文化理解セミナー (フランス語、スペイン語)講座	初めての朝鮮語講座	

問合せ先 **言語習得センター(CLA)**

(衣笠:修学館中央北側、BKC:アドセミナリオ1階)

<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/cla/>

■立命館孔子学院

立命館孔子学院は、立命館大学と中国政府・北京大学・同済大学が共同で運営する中国語教育機関です。学生、社会人等を対象に入門から上級までの各種中国語講座を開講している他、言語文化の交流に関する各種事業を行っています。

◆立命館孔子学院の中国語講座

立命館孔子学院では前期セメスター、後期セメスターに各14回の各種中国語講座を開講し、夏期休暇中、春期休暇中には弱点克服講座を開講しています。衣笠、BKC、キャンパスプラザ京都、大阪キャンパス、東京キャンパスで開講しています。みなさんの興味・関心・レベルにあわせた多様な受講が可能です。

中國語講座	入門から上級までの各クラス
試験対策講座	中国語検定対策講座(2級・3級)、新HSK対策講座(5級)
特色ある中国語講座	ビジネス中国語、中国語会話(中級・上級)等
弱点克服講座	文法、発音

◆海外研修制度

立命館孔子学院では中国で中国語を学ぶプログラムとして「中国語・文化研修セミナー」と「孔子学院留学奨学金制度」を運営しています。

中國語・文化研修セミナー	夏期休暇中の約3週間を中国の大学で中国語と中国文化を学ぶセミナーです。
孔子学院留学奨学金制度	中国の提携大学(約120校)で学ぶ留学奨学金制度です。募集人数は毎年約6名。半年または1年間のプログラムが選べます。奨学金の詳細、応募資格等は事務局に確認してください。

立命館孔子学院中国語講座、海外研修制度に関する質問は立命館孔子学院事務局までお問い合わせください。

問合せ先 **立命館孔子学院事務局(アカデメイア立命21 2階)**
<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius/>

04 パスポート（旅券）・ビザ（査証）の取得

パスポート

パスポートとは、政府ないしそれに相当する公的機関が交付し、国外に渡航する者に国籍およびその他身分に関する事項に証明を与え、外交官憲に保護を依頼する文書です。パスポートは出国、帰国の際、また外国に入国・滞在する際に必要で、所持していない場合は、各都道府県の旅券事務所で交付の申請手続きをしなければなりません。留学する際に必要なビザの申請時や入国審査時に、パスポートの有効期間が一定期間以上残っていることを求める国もありますので、すでに所持している場合でも有効期間が十分に

ビザ

ビザとは、政府ないしそれに相当する公的機関が、入国しようとする外国人の入国および滞在がさしつかえないことの判断を示し、その許可を証した書類のことと言います。ただし、ほとんどの国では、入国の最終的な決定権はその国の入国審査官にあるので、ビザはあくまで入国の推薦書類であり、入国を保証するものではありません。

ビザの要・不要、申請のための必要書類、発行までに要する時間、申請手数料などは国によって様々で、その規定は予告なく変更されることが

05 健康管理と予防接種

健康管理と予防接種

海外では思わぬ感染症にかかることが珍しくありません：結核、マラリア、デング熱、インフルエンザ、麻疹、赤痢等々。自分は「大丈夫だろう」は禁物です。「・・・の病気にかかるかも知れない」と想定して準備をしておきましょう。

【海外渡航者のための感染症情報】の「お役立ち情報」にある「ここに注意！海外渡航にあたって」を参考にしてください。

<http://www.forth.go.jp/useful/attention/index.html>

海外渡航に際する四大鉄則

情報収集 事前準備 滞在中の注意 帰国後の注意

1 情報収集

1. 危険情報の入手

各地の危険情報は、下記外務省のホームページで入手可能です。その他、現地の大天使館等でも情報を入手することは可能です。

【外務省海外安全ホームページ】<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

2. 感染症流行状況・予防接種の要否の確認

【海外渡航者のための感染症情報】<http://www.forth.go.jp/>

国別の感染症流行状況や、予防接種の要否や、予防接種機関の案内が掲載されています。

2 事前準備

1. 予防接種

◆母子手帳の確認：今までどのような予防接種を受けてきたかが記されています。早めに確認しておきましょう。また、医療機関には原本を持参してください（コピー不可）。

残っているかを確認しておくことが必要です。また留学先滞在中にパスポートの有効期限が切れる場合には、必要書類を揃え現地の日本大使館または領事館で有効期限終了前に、切替申請を行う必要があります。有効期間は発行日から5年または10年の2種類があり、20歳未満の人は5年の旅券しか申請できません。

【パスポートに関するウェブサイト】

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/>

ります。申請にあたっては、必ず留学先国の在日大使館または領事館などに直接問い合わせ、最新で正確な情報を得た上で、手続きをするようにしてください。発行までに長い時間を要することがありますので、注意が必要です。

※留学プログラムによっては、一括でビザ申請を行う場合もあります。

※米国入国に際してのESTA (Electronic System for Travel Authorization) 等、ビザ以外の事前手続きが必要な国・地域もあります。これについても、留学プログラムによっては、一括で申請を行う場合があります。

3 滞在中の注意

◆日常生活：規則正しいリズムで、十分な休息を取りながら、バランスの取れた食事と適度な運動をすることが何よりも重要です。

◆食中毒・感染性胃腸炎・コレラ・赤痢等（飲食物から感染する病気）の予防：とにかく生ものを口にしないことが鉄則です。特に、熱帯・亜熱帯地域や衛生状態のよくない地域では気をつけましょう。

種類	予防方法
水	<ul style="list-style-type: none"> ●生水（水道水）は飲まない ●水道水から作った氷も危険⇒氷入り飲料には注意！ ●水道水は、5分程度煮沸するか、塩素消毒をする ●ミネラルウォーターが無難 ●アルコールが入っていても菌は死滅しない！
魚介類・肉類	<ul style="list-style-type: none"> ●充分に加熱されたものを食べること ●生の魚介類は感染の危険あり。ウイルスや寄生虫混入の恐れ ●BSE流行地域では、牛肉摂取は危険
野菜	<ul style="list-style-type: none"> ●生野菜は避け、加熱したものを摂取のこと
乳製品・卵	<ul style="list-style-type: none"> ●傷みやすいので、衛生状態の悪いものや調理後時間が経過しているもの、賞味期限が過ぎているものは食べない
果物	<ul style="list-style-type: none"> ●皮を剥くまで（中身は）清潔 ●剥いた後は不潔になりやすいため、すぐに食べること ●長時間放置されているようなカットフルーツは危険！

◆「蚊」が媒介する病気の予防

マラリア

マラリアは、熱帯・亜熱帯地域に広く分布する重要な感染症で世界100カ国余りの国々で流行しています。日本では感染者数が少ないために医師の認識が低く、風邪などと誤診されやすく、そのため、治療が遅れ死亡するケースもいくつか報告されています。したがって、マラリア流行地域から帰国した場合は、受診の際に必ずその旨を医師に伝えてください。

【予防方法】

- ①蚊による刺咬を防ぐことが第一の予防です。防虫スプレー（ポンプ式のもの、ガス式は機内への持ち込みが制限されることがあります）や蚊取線香も多少は有効ですし、肌を露出しない服装（薄手の物はだめ）も効果があります。
- ②感染を防ぐワクチンのような予防接種はなく、感染しても発病しないための予防内服薬が何種類かありますが、薬剤に耐性のあるマラリア（耐性マラリア）の存在が大きな問題となっており、予防薬の服用に際しては現地のマラリア汚染状況などによって決める必要があります。したがって、マラリア流行地域へ渡航される際は、事前に専門家にご相談ください。

ウエストナイル熱

ウエストナイルウイルスは感染しても、大部分の人は無症状か感冒様症状が見られるだけで回復します。しかし、まれに脳炎などの重篤な症状を呈する患者もみられています。したがって、流行地域に渡航する際には、予防に努めたほうが無難です。

【予防方法】

蚊による刺咬を防ぐことしかありません。除虫剤（DEET）を持参し、現地では肌の露出を避け、蚊の活動が活発な夕方の外出は控えましょう。

その他、蚊からうつる病気として、デング熱や黄熱、日本脳炎などがあります。黄熱の流行地域へ入るためにはワクチンが必要です。

◆狂犬病

狂犬病は、発病するほぼ100%死亡し治療法がない恐ろしい感染症です。日本は島国そのため徹底した野犬対策などが効果を上げ、1957年以後患者の発生はありませんでしたが、2006年8月にフィリピンで犬にかまれ日

本に帰国後11月に狂犬病を発病し死亡した例が報告されています。世界では狂犬病により年間4万人～6万人が死亡しており、欧米を含む世界の大際に現在も存在しています。

【予防方法】

- ①海外では安易に動物に近づいてはいけません。
- ②もしも噛まれた場合は速やかに医療機関を受診しましょう。
- ③非清浄地域へ渡航する前には予防接種を受けることを勧められます。

◆インフルエンザ

2009年には新型インフルエンザが世界的に流行して大きな社会問題となりました。季節性のインフルエンザとはいえ侮ることなく、予防接種や手洗い・マスクなどの感染予防を怠らないでください。

また、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1）によるヒトの感染も世界的には消えた訳ではありません。生きた鶏を売っている市場には近づかないでください。

厚生労働省：鳥インフルエンザについて

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou02/>

4 帰国後の注意

◆検疫について

旅行中に下痢など胃腸障害を来たすことがあります。疲労・環境の変化・水質の違い・精神的ストレスなど、原因はさまざまです。これらは、一過性のものであり、あまり問題はありませんが、コレラや赤痢など感染症によるものと区別が付きにくいことが特徴です。そこで、帰国の際にも胃腸障害（下痢など）が続いている場合は、入国の際に必ず「検疫」にその旨を申告してください。早く帰りたいとの一心から、あるいは「面倒くさい」「大丈夫だろう」と、勝手な判断は危険です。

病気には、潜伏期があり、感染してもすぐには発病しません。日本で一般的な病気で潜伏期の長いものは多くはありませんが、熱帯を中心として海外には潜伏期間の長い疾患が数多くあります。このような外国の病気は通常日本には存在しないので、具合が悪いからと病院で受診しても、医師は外国で感染した病気には思いが至らず、診断が遅れ、それが命に関わることも考えられます。従って、海外から戻った後2ヵ月程度は、体調に異常があれば早めに医療機関を受診し、海外へ行って来たことを必ず医師に告げた上で相談をしてください。



米国留学には各種予防接種が求められます

◆母子手帳（あるいは予防接種手帳・記録など）を確認しましょう。

→母子手帳等がない場合は、保健センターあるいは医療機関で相談しましょう。

◆表1 (P. 43) に従い、不足分の予防接種を受けましょう。

◆2回接種が必要なもので1回しか接種していない場合は追加接種が必要です。

◆罹患の既往がある場合には、予防接種の必要はありません。

◆罹患の既往が無く、予防接種もしていない場合は、米国の必要回数の予防接種を受けましょう。

◆DTP終了後に、追加接種（過去10年以内）をしていない場合は破傷風あるいは破傷風／ジフテリア二種混合ワクチン（DT）の接種が必要です。

◆予防接種を受けたら母子手帳等に記録を付けてもらいましょう。

◆生ワクチンの接種後は4週間、不活化ワクチンの接種後は1週間の間隔を空けなければ次のワクチンを接種することはできません。

◎生ワクチン:麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘・ポリオ・黄熱など
◎不活化ワクチン:DT・DTP・B型肝炎・インフルエンザなど

◆6ヶ月以内のツベルクリン反応検査の結果記載が求められることもありますが、これには注意が必要です。すなわち、日本ではBCG(結核に対する予防接種)を行っており、ツベルクリン反応は「陽性」であることが通常ですが、米国ではBCGを行わないため、通常は「陰性」であり、「陽性」の場合には結核菌に感染しているものと考えられるからです。安易に「陽性」との結果を記すと、結核の治療を勧められるおそれがあります。定期健康診断時の胸部X線検査結果を代用すれば足ります。

*1 具体的には州によって異なるが、標準的なものを記す。

*2 米国では麻疹・風疹・ムンプスが混合された新3種混合ワクチン(MMR)を用いる。日本でも1988年から1993年まで実施されていた。しかしムンプスワクチンによる無菌性髄膜炎が予想された発生率により大幅に高かったことから中止となり、現在では別個接種が行われている。

*3 注意のところもある。

*4 平成19年(2007年)に関東地域を中心に大学生の間で麻疹(はしか)が大流行したため、平成20年(2008年)から5年間に限り中学生1年生(第3期)と高校3年生(第4期)を対象とした麻疹・風疹混合ワクチン(MR)の接種が行われている。

表1/日本と米国の相違(一般に証明書に記載が求められるものを記載*1)

	日本	米国	備考
麻疹(はしか) Measles	1回(定期接種) H18より、2回 ^{*4}	2回 ^{*2} (必須)	
風疹(三日ばしか) Rubella	1回(定期接種) H18より、2回 ^{*4}	2回 ^{*2} (必須)	未接種者が多い
流行性耳下腺炎 (おたふく、ムンプス) Mumps	1回(任意接種)	2回 ^{*2} (必須)	未接種者が多い
破傷風・ジフテリア Tetanus/Diphtheria (DT)	百日咳を含む3種混合(DTP) (定期接種)1期4回、2期1回	同左(必須) 10年毎追加	2期終了後 10年で効果は 減弱している
水痘(みずぼうそう) Varicella (Chicken-pox)	1回 (任意接種)	2回(必須 ^{*3})	
B型肝炎 Hepatitis B	計3回 (任意接種)	同左(必須 ^{*3})	受けている ことは稀
ポリオ Polio	経口2回 (定期接種)	4回	追加は不要
髄膜炎菌感染症 Meningococcal Meningitis	なし	1回(必須)	日本では 未承認

06 海外での安全・危機管理

渡航前に治安情報を調べる

留学先を決める段階から、各国の治安情報については、各自で確認しておく必要があります。

1.外務省「海外安全ホームページ」を確認する

外務省領事サービスセンターの「海外安全ホームページ」で、海外へ渡航する日本人が、現地で事件や事故に巻き込まれないための情報を提供しています。国・地域別に、「危険情報」「スポット情報」「広域情報」にわけて、犯罪・事件・テロについての情報や、渡航・滞在における注意事項を発信しています。また、「安全対策基礎データ」には、その国の犯罪事情や習慣、ビザ・出入国審査、滞在時の留意事項、緊急連絡先などをまとめられていますので、事前に渡航先の情報を必ず確認しておいてください。

【外務省海外安全ホームページ】<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

留学中の危機管理

安全な留学生活を送るために、留学中には以下のことを徹底するよう心がけてください。

1.所在を明らかにする

現地での住所は確定や変更があれば速やかに国際教育センター、家族、派遣先大学担当者に知らせるようにしてください。また、旅券法第16条により、外国に住所または居所を定めて3ヶ月以上滞在する日本人は、その地域を管轄する日本大使館または総領事館に速やかに在留届を提出する義務が付かれていますので、必ず届け出してください。在留届はインターネットからも届け出ることができます。

【外務省ORRnet】<http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

2.自分の身は自分で守る

海外では、「自分の身は自分で守る」=「自己防衛」という姿勢を徹底する必要があります。自分の行動には自分で責任をもち、安全をまず第一として行動するようにしてください。

3.常に警戒を怠らない

犯罪者の標的にならないよう絶えず周りを警戒することを怠らず、危険を感

じたらすぐに反応できるようにしてください。特に貴重品の管理には常に細心の注意を払ってください。

4.常に情報収集を心がける

ニュースや新聞などで国内情勢を常にチェックし、事件などが発生した危険な場所には絶対に近づかないようにしてください。

5.現地の人と同じように行動する

留学先では周囲の人々の行動や習慣を良く観察し、現地の人が出歩かないう時間は外出を避け、現地の人が近づかない場所は避けるなど、現地の人々と同じように行動することを心がけてください。服装も華美で目立つようなものは避け、現地の学生に合わせた方が無難です。

6.自分自身を客観的に見る

自分が犯罪者から狙われやすい格好や隙のある行動をしていないか、常に自分自身を客観的に見ながら行動するようにしてください。

07 海外旅行保険・旅行事故対策費用保険

海外旅行保険

立命館大学の海外留学プログラムで留学する学生は、本学が指定する保険会社と包括契約をする海外旅行保険に加入することが義務付けられています。留学先によっては、この保険に加入しても現地での健康保険や医

療保険への加入が義務付けられることがあります。その場合は派遣先機関の指示に従って保険に加入する必要があります。

◆補償内容および保険金額について(2013年度実績)

補償内容	標準プラン	充実プランA	充実プランB
傷害死亡	3,000万円	4,000万円	5,000万円
傷害後遺障害	3,000万円	4,000万円	5,000万円
治療・救援費用	5,000万円	5,000万円	5,000万円
疾病死亡	1,000万円	2,000万円	3,000万円
賠償責任(31日超は留学生賠償責任)	1億円	1億円	1億円
携行品損害(31日超は留学生生活用動産)	50万円	50万円	50万円
航空機遅延	2万円	2万円	2万円

補償内容や保険会社が提供するサービスの詳細については、包括海外旅行保険のパンフレットを参照してください。

旅行事故対策費用保険

海外留学プログラム参加者が、留学中に事故、病気等になり、事故対応費用や救援者費用の支出を余儀なくされた場合に補償する保険です。大学で一括して加入手続きを行いますので、海外留学プログラム参加者個人が加入手続きをおこなう必要はありません。

連絡先について

海外旅行保険・旅行事故対策費用保険の詳細については、以下までお問い合わせください。

■取扱代理店／株式会社クレオヒューマン 保険旅行事業部 TEL:075-463-9178 E-mail: travel-r@creotech.co.jp

08 荷物等の準備

一般的に留学に行く際に必要だと考えられるものについて以下に記載しています。留学先国の事情によって必要なものは変わるために、過年度派遣者のアンケートや各国の渡航情報を掲載したウェブサイトなどから情報を得ることをおすすめします。国際教育センターでは過年度参加者のアンケートが閲覧できますので活用してください。

必需品

- パスポート
- 航空券
- ビザおよび関連書類
- 外貨もしくはトラベラーズチェック
- クレジットカード
- 海外旅行保険証券
- 海外旅行保険ハンドブック

最低限必要と考えられるもの

- 眼鏡やコンタクトレンズ
- 洗面用具
- 救急セットと常備薬
- 雨具
- 衣類(下着・パジャマを含む)
- 化粧品
- 筆記用具
- 辞書

あると役立つもの

- パソコン
- アイマスク・耳栓
- ドライヤー
- ソーラー充電器
- サングラス
- 帽子
- タオル
- 輪ゴム
- スリッパ
- 変圧器・プラグ
- 洗濯セット
- カメラ・ビデオ
- 日焼け止め
- 電卓
- ボリ袋
- 目覚まし時計
- 除菌クリーナー・ウェットティッシュなど

09 留学中の遵守事項

海外留学プログラムに参加するにあたっての遵守事項(基本事項)

※2014年3月時点

以下は、立命館大学の海外留学プログラムに参加する際の最も基本的な遵守事項です。この他にプログラムごとに独自の遵守・注意事項があり、事前ガイダンス等で配布されます。合わせてよく理解し守ってください。家族(保証人)にも十分に説明をしておいてください。

※内容は変更される可能性があります。

1. 基本姿勢

立命館大学海外留学プログラムに参加する学生は、次の点を遵守しなければならない。

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館大学(以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関(以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。

2. 健康管理等

- (1) 健康管理は、自らの責任でおこない、服用の必要な医薬品や、主治医の紹介状等を現地に持参すること。
- (2) 医師による診断書などに基づき、留学プログラムへの参加または継続が困難であると本学が判断した場合、これに従うこと。この際、日本国外に滞在している場合は速やかに帰国すること。
- (3) 前号によって帰国した後、健康状態等が回復したとしても、教学上の理由等から、本学の判断によりプログラム復帰を認められない場合があることを理解すること。
- (4) 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険等へ加入すること。
- (5) 既往症および現在疾患や、服薬の状況について所定の方法で事前に本学に申告すること。また、プログラム参加を許可する医師の診断書等についても、提出すること。
- (6) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、速やかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。

- (7) 傷病等により、保証人による救援などが必要と本学が判断した場合、保証人が本学の指示に従って行動するよう、予め了承を得ること。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (8) 既往症および現在疾患等がある状態でプログラムに参加し症状が悪化したとしても、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わず、関連して必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (9) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、派遣先の当該担当者の判断によって処置することに同意すること。

- (10) 本学による定期健康診断もしくは本学の指定する健康診断を、出発日から遡って1年以内に受診すること。

3. 経費および補償

- (1) プログラムに要する費用(研修料・宿泊費・航空運賃・保険料等)は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへ参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費について負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、その他不可抗力的な事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先に損害賠償を要求せず、前号と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が予測しない事情によって、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等、本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 本人の故意または重大な過失により、プログラムに重大な損害を与えた場合は、必要に応じ賠償の責を負わなければならないこと。

4. 入国・帰国

派遣先での研修終了後は、速やかに帰国すること。

5. 自由時間における行動

- (1) 自動車、オートバイ、船舶または航空機等の運転、操縦および購入を行わないこと。
- (2) バンジージャンプ、スカイダイビング、スキューバーダイビング等、危険な行為を行わないこと。
- (3) 派遣先の休暇期間中に旅行または一時帰国をする場合は、派遣先にその旨を報告するとともに、本学の担当者に対し、所定の書類を提出すること(一時帰国は交換留学のみ可)。
- (4) 前号の書類の内容について、本学または派遣先から変更や中止の指示があった場合、当該指示に従うこと。

6. 報告書等の提出

所定の報告書等の提出を本学に対して所定の期日までに行うこと。

7. 誓約書の提出

「立命館大学海外留学プログラムに参加するにあたっての遵守事項」を理解し厳守するために、本人および保証人連名による誓約書を提出すること。

10 留学中に本学で発生する重要な手続き

留学中であっても、各学部・研究科で重要な手続きが発生する場合があります。必要な手続きは学部・研究科や回生などによって異なります。以下に主な手続きについて記載しています。自分が該当すると思われる事項については、必ず留学前に各学部・研究科事務室に確認を取っておいてください。

●留学中に発生する重要な手続き(例)

受講登録	転籍	ゼミ募集	奨学金募集
------	----	------	-------

上記以外にも、各種手続きが発生する可能性がありますので、必ず事前に各学部・研究科事務室まで確認を取るようにしてください。

11 言葉の壁・カルチャーショックへの対処法

言葉の壁を乗り越えるには

留学先では、授業中だけでなく、日常生活のあらゆる場面で外国語を使う必要がありますし、できるだけそういった状況に身を置くことが、言語修得の上では効果的です。しかし、ほとんどの人は、自分の期待よりも言葉が通じなかつたり、現地の人が使っている略語やジョークがわからず取り残された気持ちになったり、語学力の伸び悩みを感じるなど、いわゆる「言葉の壁」を経験します。この「言葉の壁」は、以下の点を念頭におきながら、日々努力を継続すれば必ず乗り越えることができます。

カルチャーショックへの対処法について

1. カルチャーショックとは

カルチャーショックとは、生まれ育った環境とかけ離れた新しい環境・文化に適応しようとする際に起る心理的ショックのことと言います。自分がこれまで正しいと信じていたものが全く受け入れてもらえない、あるいは否定される状態になるので、時として混乱したり、孤立したり、その国への反感や批判をはじめてしまう場合もあります。カルチャーショックは肉体的・精神的にも影響し、疲労感やあせり、不安、憂鬱、睡眠不足などから摂食障害や引きこもり、対人恐怖症などを引き起こすこともあります。

2. カルチャーショックへの対処法

カルチャーショックへの対処法として大切なことは、こうした状態は異文化への適応のための自然な過程だということ、そして成長のための大きなチャンスだということを、あらかじめよく自覚しておくことです。カルチャーショックは自分だけではなく、誰にでも起こりえるもので、何度も海外生活を経験した人でも、はじめての土地では少なからず経験します。

以下にカルチャーショックに陥った場合の対処法として有効なものをいくつかあげておきます。

- ① 今現在のことだけにとらわれないこと
- ② 誰もが経験する自然な過程だと思うこと

12 帰国後の手続き

プログラムによっては事後レポート・報告書の提出が求められる場合があります。所定の講義・ガイダンス等が設定されている場合は、必ず参加してください。

学籍が「留学」となるプログラムでの学習を終え、帰国した場合は、所属学部・研究科事務室まで「留学終了届」を速やかに提出してください。提出に際しては、他に必要な手続きがないか事務室に確認してください。なお、「留学終了届」を提出しなければ、留学を終了し、帰国していることを各学部・研究科が確認できません。学籍を「在学」とする手続きが行えず、立命

また各学部・研究科事務室連絡先やその他必要な情報については、CAMPUS WEBや各学部・研究科ホームページなどで確認しておいてください。学部・研究科によっては学内メールで情報を発信している場合もありますので、留学中もメールのチェックを怠らないようにしてください。

- 語学力は階段状に伸びるため、毎日少しづつの進歩を実感しにくい。毎日の積み重ねがあれば、ある日突然、ジャンプアップできる。焦らず、日々の努力をすること。
- わからないときは積極的に説明を請うこと。必要であればゆっくり話してほしいという意思表示をすること。
- 間違いを恐れず、失敗から学ぶ気持ちで積極的に新しい言葉を使ってみること。
- 自分の得意分野や専門領域についてしっかり語れるよう、事前に準備しておくこと。また、その話題を活用できる場面自分で作り出すよう努力すること。

- ③目的を見直し、現実的なものに変えていくこと
- ④日本的な価値観で物事を判断しないように心がけること
- ⑤自分の気持ちを表現するようにすること
- ⑥一人でひきこもらうこと、趣味やスポーツ等を通じて交友関係を広げること
- ⑦健康な生活パターンを守り、気分転換を図るようにすること
- ⑧相談室を利用したり、まわりの人に助けを求める

3. 逆カルチャーショックについて

帰国後、「逆カルチャーショック」が起こる場合がしばしばあります。特に留学先の環境にうまく適応できた人ほど、立ち直ることが難しいと言われています。

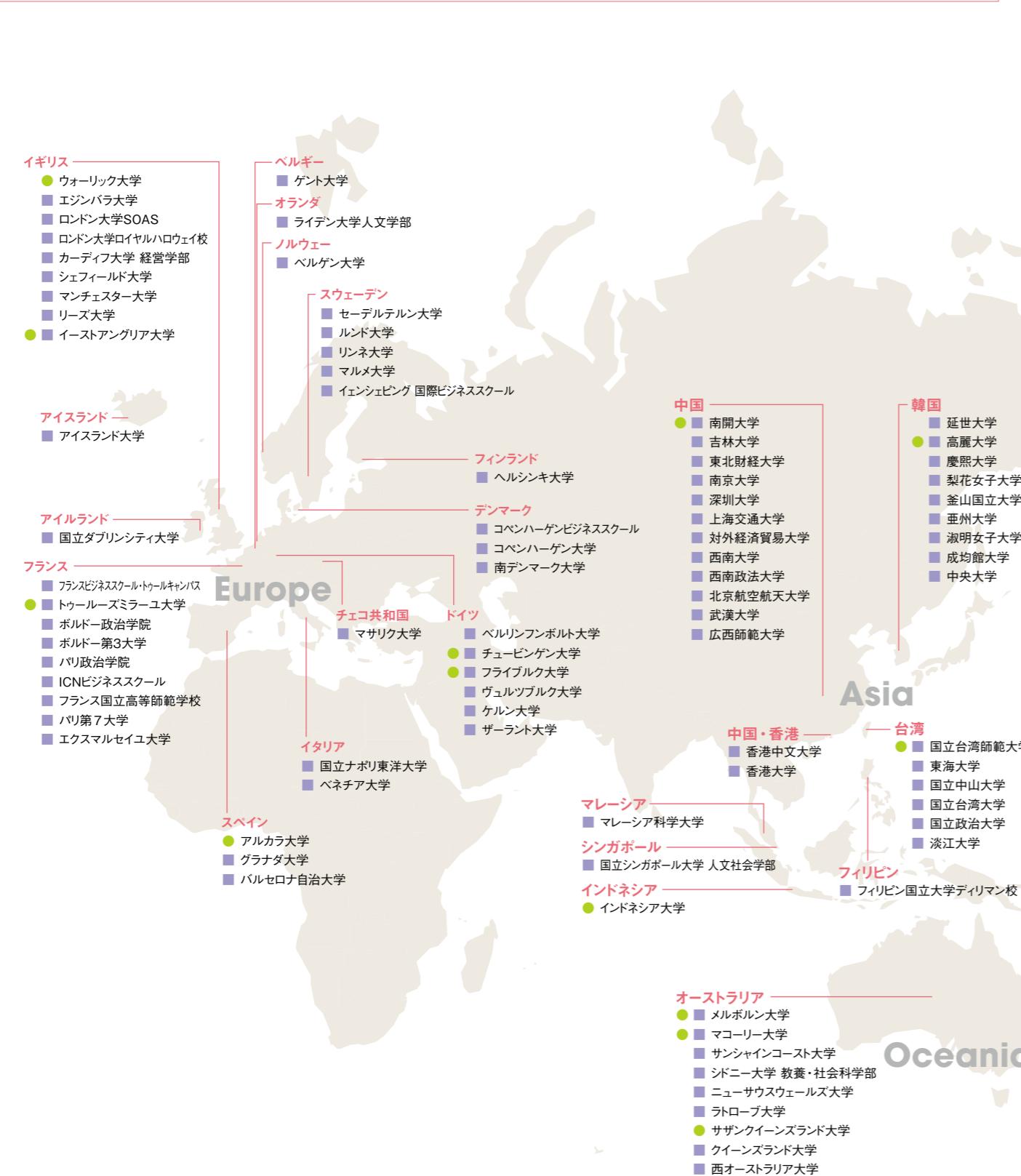
「逆カルチャーショック」でも留学中のカルチャーショックと似た症状が起こりますが、帰国後は本人も周囲の人々も、日本での生活に適応できないということなど想定していないケースが多いので、とまどいが大きく、本人も早く順応しなければならないというストレスを強く感じることが多いようです。しかし、「逆カルチャーショック」とは、自分が留学から何を学んだのか、自分の価値観がどのように変化したのかを知るプロセスであり、留学の成果につながる大切な要素でもあるのです。留学を経験して帰国した先輩の話を聞くのも参考になるでしょう。

館大学での講義を受講できません。

派遣先大学開講科目を受講して単位取得し、本学での単位認定を希望する場合は「単位認定願」、履修期間および成績が明記されている単位取得証明書、シラバス等を所属学部・研究科事務室まで速やかに提出してください。本人による帰国後の単位認定申請を受けて、所定の基準に基づいて各学部教授会(研究科委員会)において審議し、承認されれば、本学の科目として単位認定します。

国際教育センター実施 海外留学プログラム 派遣先大学・機関一覧

● 短期留学プログラム ▲ 1セメスター留学プログラム ■ 交換留学 ○ DUPD ☆ その他長期留学プログラム



世界61カ国・地域、405大学・機関と協定を結んでいます。(2014年1月現在)

世界27カ国・地域、132大学・機関から留学先を選択できます。(2014年1月末現在)



2013年度海外派遣者実績

プログラム名		法	産社	国際	政策	文	映像	経済	経営	理工	情報	生命	薬	スポーツ	大学院	派遣数計	定員
学部実施プログラム	BSA II (交換留学: ストックホルム大学ビジネススクール)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	0	6	
	BSA II (交換留学: 大連外国语大学)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	0	4	
	BSA II (交換留学: 対外経済貿易大学)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	0	1	
	BSA II (交換留学: オークランド工科大学ビジネススクール)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	0	4	
	BSA II (交換留学: ストラスブル大学)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	0	6	
	BSA II (交換留学: フランスビジネススクール・ボアティエキャンパス)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	0	6	
	BSA II (交換留学: フランスビジネススクール・トゥールキヤンパス)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	0	6	
	BSA II (交換留学: ブレーメン州立経済工科大学)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	0	6	
	BSA II (交換留学: タマサート大学ビジネススクール)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	0	2	
	BSA III (海外実習 II: アメリカ合衆国・サンディエゴ)	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	6	5	
	BSA III (海外実習 II: カナダ・バンクーバー)	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	5	
	BSA IV (交換留学: ストックホルム大学ビジネススクール)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	0	3	
	BSA IV (交換留学: 大連外国语大学)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	0	3	
	BSA IV (交換留学: 対外経済貿易大学)	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	
	BSA IV (交換留学: オークランド工科大学ビジネススクール)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	0	2	
	BSA IV (交換留学: ストラスブル大学)	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	5	3	
	BSA IV (交換留学: フランスビジネススクール・ボアティエキャンパス)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	0	3	
	BSA IV (交換留学: フランスビジネススクール・トゥールキヤンパス)	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	0	3	
理工	EDC ハワイ大学夏期留学プログラム	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	11	30	
	環境システム工学科 海外環境スタディ (カナダ)	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	21	15	
	環境システム工学科 海外環境スタディ (マレーシア・シンガポール)	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	17	15	
	ワシントン大学夏期海外IT研修プログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	21	25	
	インド夏期海外IT研修プログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	17	35	
	クイーンズランド工科大学春期海外IT研修プログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	9	30	
	中国・東北大学ソフトウェア学院短期IT研修プログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	8	20	
	中国・大連交通大学短期IT研修プログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	13	20	
	生命・養・スポーツ カリフォルニア大学デビッドソン「サイエンス&テクノロジー」プログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	5	2	-	42	40	
	スポーツ インターンシップ (海外) ロサンゼルス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	9	20	
	インターナショナル (海外) フェニックス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	20	
学部実施プログラム 計		15	90	0	83	81	16	72	81	49	67	35	5	12	1	607	933
国際実施プログラム	共通 国際平和交流セミナー (中国)	7	4	1	1	0	0	3	3	0	0	-	-	0	-	19	25
	教育課 国際平和交流セミナー (韓国)	3	3	4	0	4	0	2	7	1	1	-	-	0	-	25	25
	国際インス 海外インターンシップ (国際インスティテュート専門)	0	0	0	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4
	立命館 中国語・文化研修セミナー	2	2	4	1	12	0	0	2	0	0	0	0	0	0	25	30
	孔子学院 留学奖学金制度	0	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	6
	教学機関実施プログラム 計	12	9	10	3	20	0	5	13	1	1	0	0	0	2	76	90
	法学院	交換留学プログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	若干名
	全研究科	DMDP (共同修士学位プログラム) (アメリカン大学)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	若干名
	社会学、国際関係、文学、経済研究科	DMDP (共同修士学位プログラム) (ランカスター大学)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	若干名
	社会学研究科	DMDP (共同修士学位プログラム) (中央大学)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	若干名
国際関係研究科	DMDP (共同修士学位プログラム) (エラスムス大学 ISS)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	若干名	
	DMDP (共同修士学位プログラム) (ヨーク大学)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	若干名	
	DMDP (共同修士学位プログラム) (ロンドン大学ロイヤルハロウェイ校)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	若干名	
	DMDP (共同修士学位プログラム) (慶熙大学)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	若干名	
	海外実習 (インターンシップ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	若干名	
文学研究科	DMDP (共同修士学位プログラム) (高麗大学)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	若干名	
	DMDP (共同修士学位プログラム) (広東外語外貿大学)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	若干名	
	CIIS留学プログラム (カリフォルニア総合学研究所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	若干名	
応用人間科学研究科	ペトナム国立ハノイ師範大学障害児教育学科における海外実習 (対人援助実習H3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	若干名	
	蘇州大学教育学院との連携による海外実習	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	若干名	
	Joint TESOL Certificate Program	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	12	
情報研究科	日本語教育実習	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	若干名	
	経済研究科	大学院生交換プログラム (タイ国立開発行政研究院 (NIDA))	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	若干名	
	経営学研究科	DMDP (共同修士学位プログラム) (フランス・ビジネス・スクール)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	若干名	
スポーツ	インターナショナル (国内・国外あり そのうちの国外派遣分)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	若干名	
	GRGP (国際力を備えた大学院学生養成プログラム)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	30	
	UBC理工学・工学部との大学院生交換プログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
法務研究科	外国法務演習 (アメリカン大学ロースクール)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	
	MOT ハンブルグ・ハーレルブルグ工科大学海外長期派遣プログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
研究科実施プログラム 計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86	43	
学部・研究科・機関実施分 合計		27	99	10	86	101	16	77	94	50	68	35	5	12	89	769	1066
学外機関によるプログラム※1		3	0	5	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	12	41
海外派遣 会計		119	190	180	136	304	19	144	204	81	71	55	8	21	91	1623	2229

留学FAQ—よくある質問—

このFAQはあくまでもおおよその例ですので該当しないプログラムもあります。参加希望プログラムの募集要項で確認してください。

基本編

Q 留学をしたいのですが、どこで情報を得られますか？

A 留学に関する情報は以下が参考になります。

- ①立命館大学国際教育センター（以下、国際教育センター）のホームページ・掲示板・国際交流ラウンジ（P.53、54参照）
- ②国際教育センターで配布している冊子「海外留学案内」・「海外留学の手引き」
- ③留学相談ブース（国際教育センターで開設：P.53参照）
- ④各学部のホームページ・CAMPUS WEB
- ⑤その他インターネット・留学情報雑誌
- ⑥募集説明会
各プログラムの募集要項は国際教育センター（衣笠：明学館1F、B KC：アクロスウイング1F）の窓口で配布しています。国際教育センターでは海外協定大学からの資料や、過去の参加者のアンケートなど様々な留学関連の資料を国際交流ラウンジに常設しています。

Q TOEFL®、IELTSとは何ですか？

Q どうすれば受験できますか？

A IV章 留学に向けて（03 外国語の学習について）（P.39）を参照してください。

Q どのように留学先やプログラムを選べばよいですか？

A 立命館大学では様々な海外留学プログラムを実施しています。その中で一つを選ぶのはなかなか難しいことです。まずは以下の点を自分自身に問い合わせて、自分に合うプログラムを探してみましょう。

- 目的・動機
- 帰国後の進路・目標
- 留学先・期間・制度
- 基礎学力・語学力
- 経済的裏付け
- 精神力・適応性

明確な目的意識を持ち、綿密な留学計画を立てることが留学を成功させる秘訣です。事前に様々な角度から考えた上で、参加プログラムを決定してください（P.55、56参照）。

Q 「全学募集プログラム」と「各学部・教学機関独自のプログラム」の違いは何ですか？

A 「全学募集プログラム」とはおもに国際教育センターが主催するプログラムです。すべての学部の学生を募集対象としていますので、学部を越えて参加者が集まります（一部プログラムを除く）。「各学部・教学機関独自のプログラム」とはそれぞれの学部や教学機関が主催するプログラムで、募集対象を限られた学部に限定している場合があります（一部例外もあり）。各学部のプログラムは内容がその学部の専門分野にフォーカスされていることが多いです。

準備編

Q プログラムの内容やスケジュールが知りたいのですが。

A 留学プログラムの内容・スケジュールは、合格発表後にみなさんにお知らせしています（プログラム・派遣先によって発表内容・時期は異なります）。また過年度のプログラム詳細・スケジュールは国際教育センターにて閲覧できます（P.54参照）。留学アドバイザー（P.53参照）に詳しく聞いてみるのもよいでしょう。

Q お金はいくら持つていけばいいですか？

Q どのように持っていくのがいいですか？

A 持っていくお金の種類や金額は、派遣先・派遣期間、また普段の生活スタイルによって様々です。参加者アンケートや報告書（P.54参照）を読んだり、留学アドバイザー（P.53参照）に聞いたりする等、各自情報収集するようにしてください。

Q パソコンは持つていったほうがいいですか？

Q インターネットは接続できますか？

A 派遣先や派遣期間によって異なりますが、派遣期間が1セメスター以上の留学プログラムに参加する場合は、パソコンを用いての課題も多い為、必須です。またインターネットの接続も派遣先や滞在先によって異なります。参加者の報告書（P.54参照）を読んだり、留学アドバイザー（P.53参照）に聞いたりする等、各自情報収集するようにしてください。

キャリア編

Q 留学をして4年間で卒業できますか？

A 本学の留学プログラムに参加する場合は、留学期間を在学年数に含みますので4年間で卒業することは可能です。しかし、留学期間が長期になる場合や、留学時期、各自の単位取得状況によっては4年間で卒業ができない場合がありますので、所属学部・研究科事務室で相談の上、授業の履修計画と留学する時期・期間を十分検討してください。

Q 留学をして就職活動に支障はでませんか？

A 留学期間が就職活動時期に重なる場合は、注意が必要です。希望している職種の採用活動時期がいつなのか、どのような準備が必要なのかを事前にキャリアオフィス等で確認しておくとよいでしょう。また、インターネットを使ってエントリーを行うなど、留学中にできる就職活動もあります。

その他

Q 立命館大学に在籍する外国人学生ですが、大学の海外留学プログラムに参加することはできますか？

Q 【短期留学生】

参加することができません。

Q 【正規の学生として在籍する外国人留学生】

応募条件を満たしていれば、留学プログラムに参加することができます。ただし、イニシエーション型、モチベーション向上型プログラムについて、母国語（出身地の公用語）で行われる場合、参加することができません。また、一部の派遣先大学では、受け入れる学生の国籍が制限されています。

なお、日本国籍の学生とは異なるビザの申請や、受給している奨学金に関する手続きが必要になる場合があります。留学後の日本への再入国に関しても注意が必要です。留学プログラムに応募する際には国際教育センター（海外留学窓口および留学生窓口）で事前にご相談ください。

学部・教学機関が主催するプログラムについては、別途制限がある場合があります。各事務室の窓口にて事前にご相談ください。

Q 留学中の滞在宿泊先はどんな所ですか？

A ホームステイ、寮などプログラムにより異なります。ホームステイの場合、可能な限り各学生に合ったステイ先を派遣先大学・機関等に選定してもらっています。ホームステイの場合も、寮の場合もたいていは他人との共同生活になります。はじめのうちは慣れないことも多く、ストレスがたまるかもしれません、それもきっと貴重な経験になるでしょう。

Q 留学するために奨学金を受けたいのですが、どのようなものがありますか？

A 立命館大学には海外留学プログラムに参加する学生を支援する奨学金制度があります。また、日本政府や外国政府、民間団体など、学外組織が募集する奨学金制度もあります（P.38参照）。

選考編

Q 語学力に自信がないのですが、大丈夫でしょうか？

A 立命館大学では様々なレベルの海外留学プログラムがあります。初級者向けのプログラム（イニシエーション型）も揃っていますので、語学力に自信がなくても心配いりません。しかし、応募条件として、TOEFL®スコア等を必要とする場合もありますので、自分の語学力を知る上でも早めに語学検定試験を受験をしておいたほうが良いでしょう。

Q 出願時点でTOEFL®スコアなどの語学検定スコアが語学要件に達していないのですが、応募できますか？

A 募集要項で提示している語学要件は、応募時に満たしている必要があります。応募の際には「程度」と記載がある場合を除き、語学要件を満たす検定スコア等の提出が必要です（スコア等がない場合は、選考の対象外となります）。

Q パスポートを持っていないのですが、応募できますか？

A 応募時もしくは合格発表時にパスポートのコピーを提出します。応募時にパスポートを所持していない方は、早急に取得する必要があります。詳細は、P.41を参照してください。

Q 選考は怎を基準にしていますか？
成績が悪いとダメですか？

A 選考は書類選考（応募レポート・TOEFL®スコア等の語学能力・学業成績など）を行った後、必要があれば面接を行い、総合的に判断します。学内での成績はどのプログラムでも重視されるので、日々の学習に真摯に取り組むことが大切です。

留学の情報、どこで手に入る？

立命館大学国際教育センターでは海外協定大学からの資料や、過去の参加者の報告書など様々な留学関連の資料を国際交流ラウンジに常設しています。

日常的に留学アドバイザー（過年度留学経験者）が、留学に関する様々な疑問、質問に個別に対応する、留学相談ブースも設置しています（下記項目参照）。

また、窓口での相談も受け付けていますので、気軽に立ち寄りください。

◆ 衣笠国際教育センター：明学館1階

◆ BKC国際教育センター：アクロスウイング1階

各留学プログラムの募集時期には募集説明会も実施しています。

国際教育センターHPには参加者募集・イベント情報、各種プログラムの概要を掲載しています。過年度の募集要項もダウンロードできます。

<http://www.ritsumei.ac.jp/international/>



留学相談ブース

留学を経験した学生が留学アドバイザーとして留学相談に対応します！

国際教育センターに設置された留学相談ブースにて、留学アドバイザーが、プログラム内容や、留学先情報、経験談など留学に関する様々な疑問や質問に個別に対応。

留学に興味のある方、すでに留学が決定している方！ぜひ気軽に留学相談ブースに来てみてください。今後のあなたの留学の参考にしてみてはいかがでしょうか？

留学相談ブースは授業期間中の月～金曜日の毎日開設しています（ただし祝日のぞく）。相談ブースの開設日時と担当留学アドバイザーの参加プログラム名が確認できるシフト表を国際教育センター掲示板およびHPに掲載しています。

衣笠 国際教育センター内（明学館1階）

BKC 国際交流ラウンジ内（アクロスウイング1階）

どこに行こう…？ いつ行こう…？

あのプログラムについて知りたいなあ…。

どんなプログラムがあるの…？

迷っているなら留学相談ブースに来てください。

留学相談ブース開設時間	A	12:40～13:40
	B	14:40～15:40



留学アドバイザーとは

国際教育センター実施の海外留学プログラムに参加した学生が帰国後、留学アドバイザーとして登録し、これから留学する学生への情報提供やサポートを行っています。

多くの学生が留学アドバイザーとして活躍していますので、留学を終えたら、ぜひ留学アドバイザーとの協力ををお願いします。留学アドバイザーとしての活動は、みなさんの大学での学びの中に「留学」をどう位置づけるのかを考える上で非常に有意義な機会となるでしょう。

留学アドバイザーカから
ひと言！

私たち留学アドバイザーは、国際教育センター実施の海外留学プログラムの経験者で構成されており、留学を考えているみなさんの留学に関するちょっとした悩みや疑問に対してアドバイスしています。大人数を対象に行われる留学説明会とは異なり、私たち一人ひとりが個別に対応しますので、説明会で話しきれない具体的な現地の情報をみなさんにお伝えできます。

留学に関して知りたいことや悩んでいることがあれば、ぜひ留学アドバイザーに相談してください。

国際交流ラウンジ

国際交流ラウンジは、日本人学生と留学生が自由に利用できるスペースです。

海外協定大学からの資料や、過去の参加者の報告書など様々な留学関連の資料を用意しています。

授業の空き時間などにぜひ利用してください。

衣笠 明学館1階（国際教育センター内）

BKC アクロスウイング1階



ラウンジにはこんな資料があります！

◆留学プログラム参加者報告書

プログラムの内容、滞在先や環境・持ち物・費用など、参加者目線からの情報が揃っています。

◆留学プログラムスケジュール詳細

何を学ぶのだろう？フィールドトリップの行き先は？週末はどうするのだろう？

過年度の各プログラムスケジュール詳細が閲覧できます。

※派遣先によって記載情報は異なります

◆交換留学報告書

帰国前の準備から、現地での受講科目や生活・留学の成果など、それぞれの派遣先の情報が細かく記されています。

◆海外協定大学パンフレット

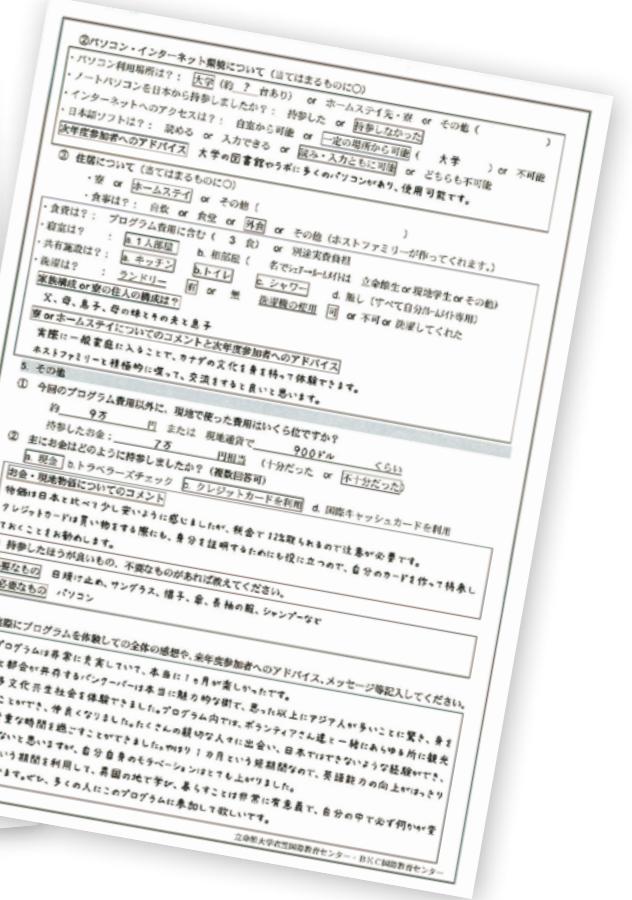
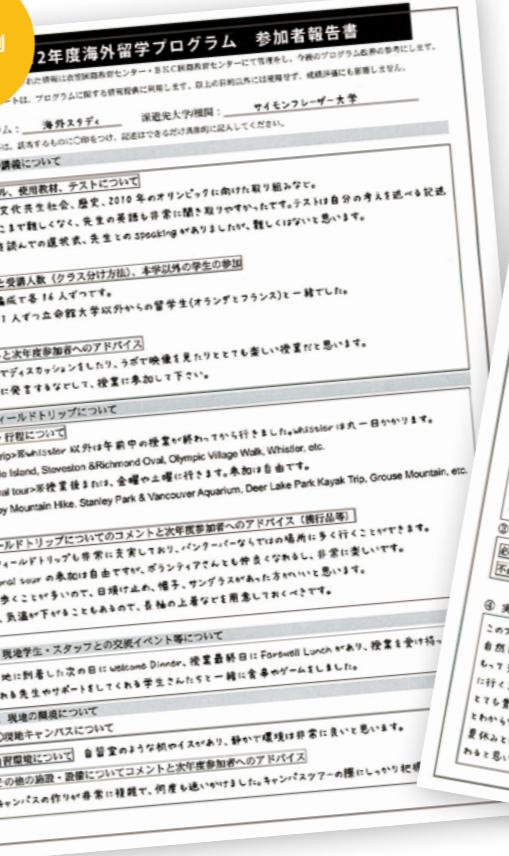
◆留学関連資料

◆新聞、雑誌、フリーペーパー 等

※BKCでは、留学プログラム参加者報告書、交換留学報告書は国際教育センター内にあります。



報告書例



あなたに向いている留学プログラムは?

留学を考えるにあたって

立命館大学の留学プログラム

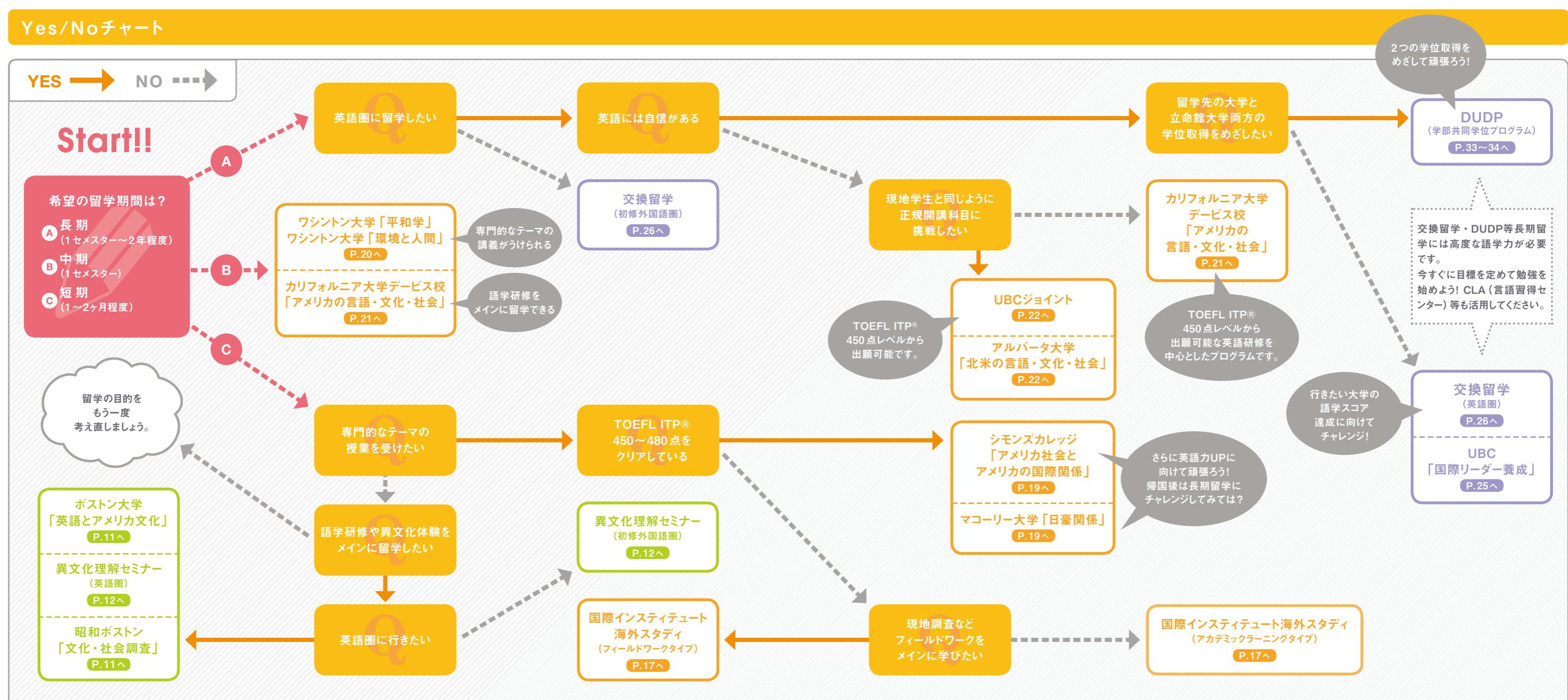
イニシエーション型

モチベーション

アドバンスト

留学に向け

データ・資



英語検定試験点数比較換算目安

TOEFL ITP® (団体試験)	TOEFL iBT® (Internet Based Test)	IELTS	CEFR	TOEIC®
550	80	6.0	B2	800
500	61	5.5		630
480	54	5.0		580
450	45	4.5	B1	500

TOEFL = Test of English as a Foreign Language

IELTS = International English Language Testing System

CEFR = Common European Framework

TOEIC = Test of English for International Communication

*本表は、本学国際教育センターでの実績に基づく評価をもとに、独自に作成したものです。各種検定試験の実施主体による判断とは異なる場合があります。

*各試験は形式や目的がそれぞれ違います。したがって、本表はあくまで本学国際教育センターが独自に比較した参考値であり、自動的に換算されるものではありません。

便利なリンク集

渡航情報

- 海外渡航者のための感染症情報
<http://www.forth.go.jp/>
- 外務省海外安全ホームページ
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

外部団体

- 日本学生支援機構 (JASSO) 海外留学情報
http://www.jasso.go.jp/study_a/oversea_info.html
- CIEE (TOEFL®について)
<http://www.cieej.or.jp/toefl/>
- IIBC (TOEIC®について)
<http://www.toeic.or.jp/>
- STEP (IELTSについて)
<http://www.eiken.or.jp/ielts/>
- 各国留学情報センター (公的機関・政府関連交流団体のみ)
 - 日米教育委員会
<http://www.fulbright.jp/>
 - カナダ教育センターネットワーク
<http://www.studycanada.ca/japan/>
 - ブリティッシュ・カウンシル
<http://www.britishcouncil.jp/>
 - オーストラリア政府国際教育情報センター
<http://www.studyinaustralia.gov.au/japan>
 - ニュージーランド政府 留学情報
<http://www.newzealandeducated.com/int/ja/>
 - フランス政府留学局・日本支局
<http://japon.campusfrance.org>
 - ドイツ学術交流会
<http://tokyo.daad.de/>
 - 韓国・国立国際教育院
<http://www.studyinkorea.go.kr/>

